

第181図 土城出土遺物 (2)

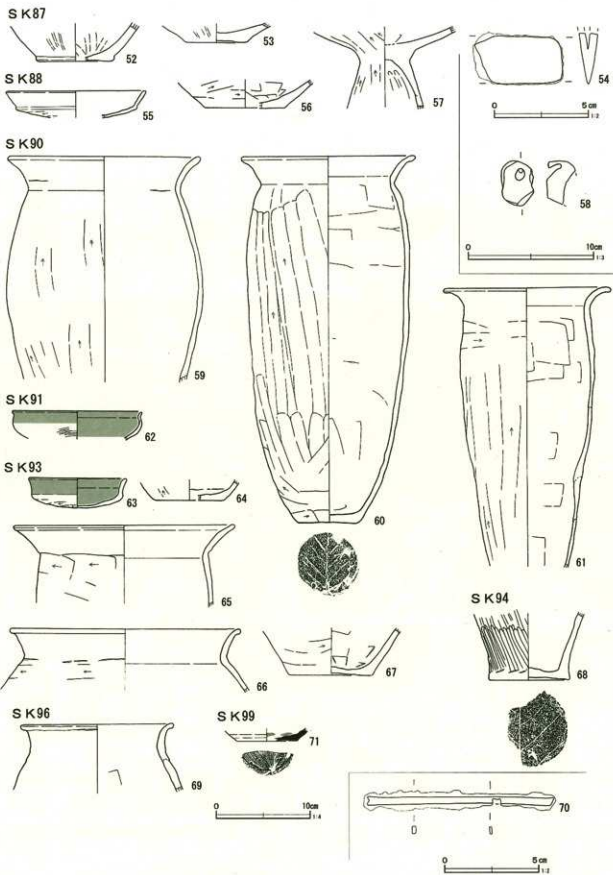
基のピットを切っているが、その他のピットとの
新旧関係は確認できなかった。平面形は長方形で、
長軸(1.35)m、短軸0.80m、深さ0.15m、長軸方
位はN-66°-Wである。

遺物は出土しなかった。

第356号土壇 (第178図)

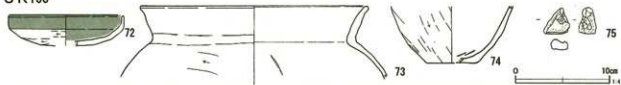
D-16グリッドに位置する。第59号溝跡とピ
ットとの新旧関係は確認できなかった。平面形は
不明。長径[1.30]m、短径(0.90)m、深さ0.20m
である。

遺物は出土しなかった。

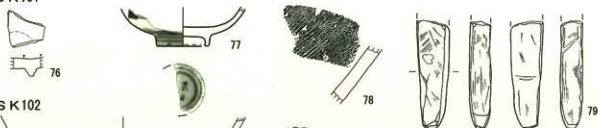


第182図 土壙出土遺物(3)

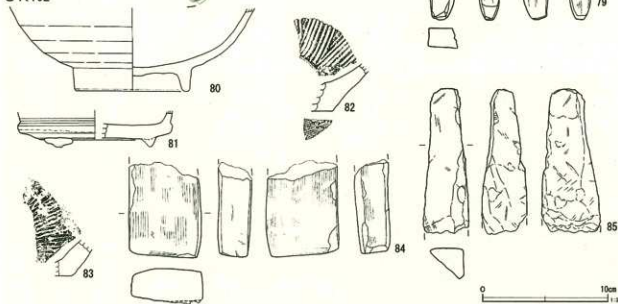
SK100



SK101



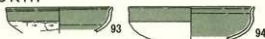
SK102



SK106



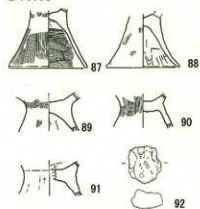
SK111



SK122



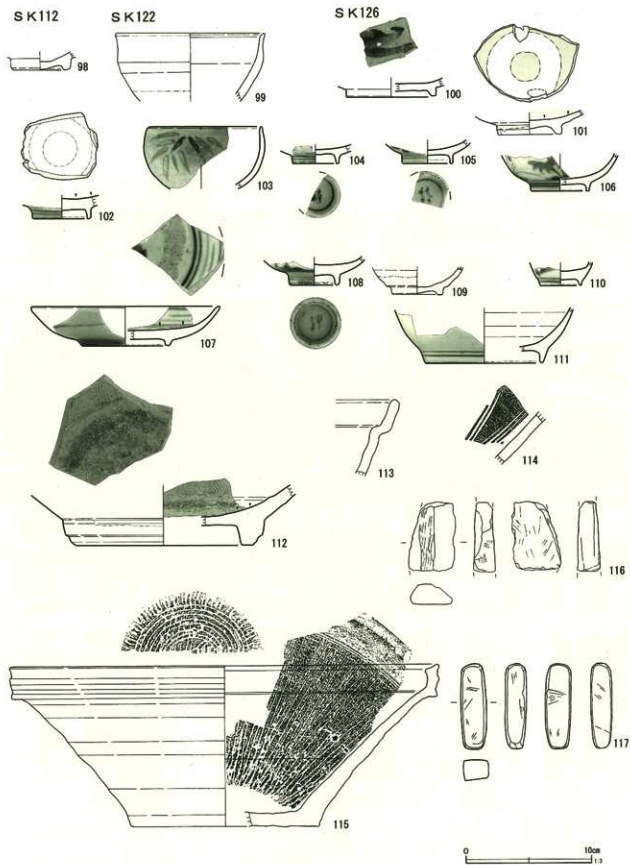
SK108



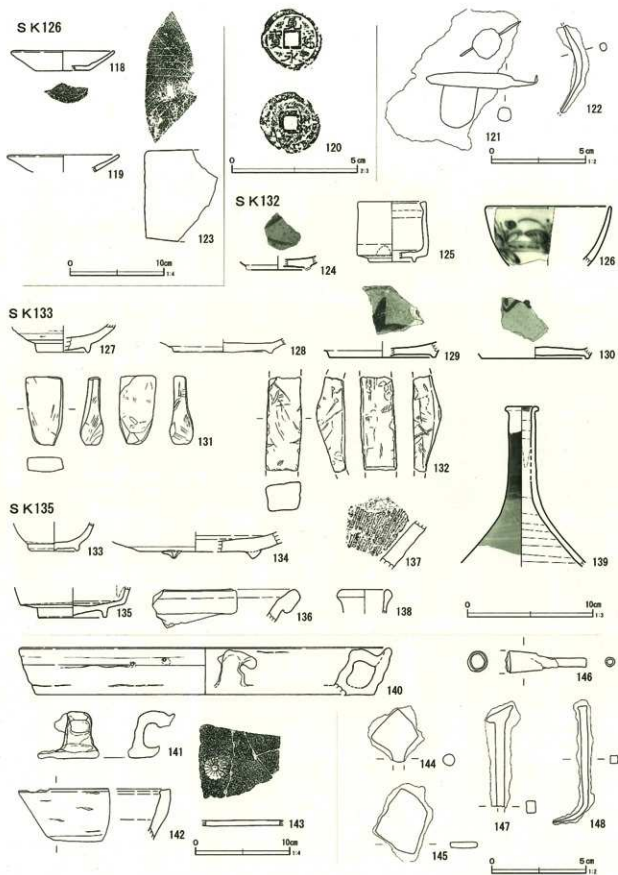
SK113



第183図 土城出土遺物(4)



第184图 土城出土遺物 (5)



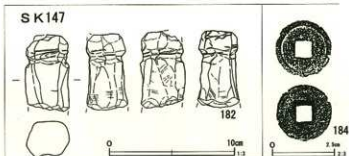
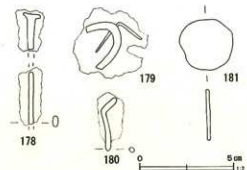
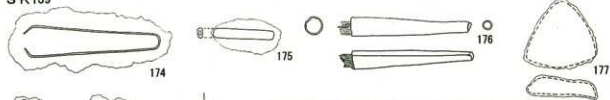
第185图 土城出土遺物(6)

SK 139

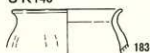


第186图 土壤出土遗物 (7)

SK139



SK148



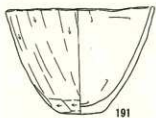
SK210



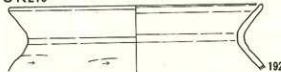
SK214



SK217



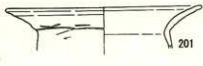
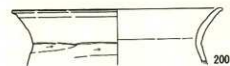
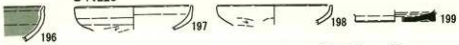
SK219



SK227



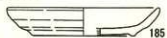
SK228



SK229



SK151



SK233



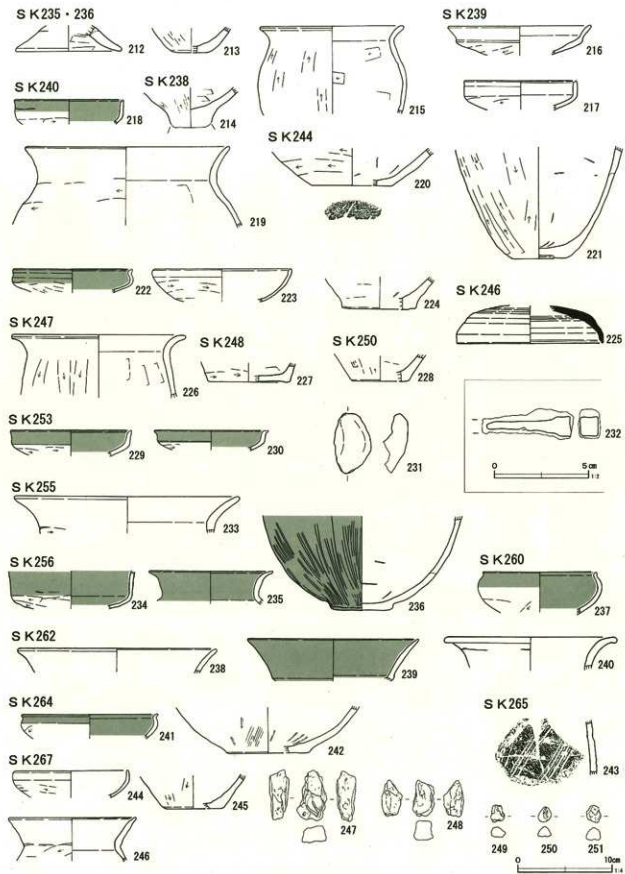
SK234



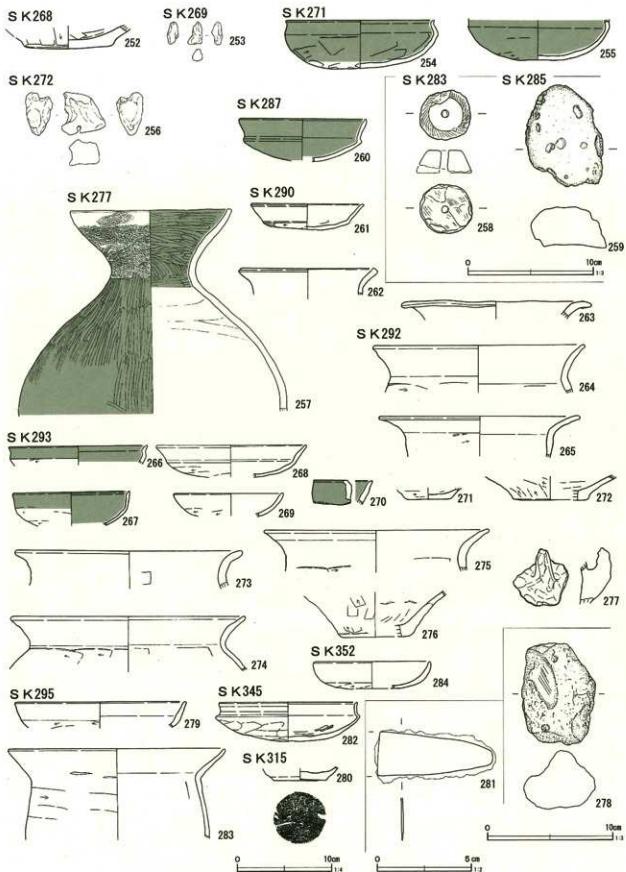
SK229



第187図 土壙出土遺物(8)



第188図 土坑出土遺物 (9)



第189図 土城出土遺物 (10)

第24表 土壌出土遺物観察表

番号	遺構	区別	種別	器種	残存率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
1	SK7	C	土師器	壺	30	(14.0)		[3.7]	C D F	普通	にぶい 黄橙		
2	SK11	C	土師器	壺	40	(19.8)		[5.3]	G	良好	にぶい 黄橙		内面赤彩 器面風化
3	SK18	C	土師器	高坏	30	(16.9)		[4.6]	B C F G I	良好	赤褐		内外面赤彩 口縁部内面指痕汪痕あり
4	SK18	C	土師器	坏	15	(15.0)		[3.5]	A D F	良好	にぶい 橙		外面口縁部赤彩
5	SK18	C	土師器	坏	20	(16.4)		[4.7]	D G	良好	にぶい 赤褐		内外面赤彩
6	SK18- 19	C	土師器	坏	50	(17.8)		5.1	A D F	普通	にぶい 黄橙		内面・外面口縁部赤彩
7	SK18- 19	C	土師器	坏	80	18.7		4.8	A B D F G	普通	にぶい 橙		内外面赤彩
8	SK18- 19	C	土師器	壺	60		8.0	[2.1]	A B F	普通	にぶい 橙		内面底部・外面胴~底部に煤付着
9	SK29	C	土師器	坏	25	(13.5)		[3.5]	A B C F G	良好	にぶい 赤褐		内面・外面口縁部赤彩
10	SK31	C	土師器	瓶	65		(9.6)	[21.0]	A C D F G H	普通	にぶい 黄橙		内面へう割り・指痕汪痕 外面へう割り
11	SK34	C	土師器	坏	20	(13.6)		[3.8]	A C F G	普通	明赤褐		内面・外面口縁部赤彩 器面風化
12	SK39	C	土師器	鉢	20	(16.0)		[9.8]	A C D F G J K	普通	にぶい 黄橙		器面風化顕著
13	SK41	A	土師器	坏	20	14.2		[3.3]	A C F G	普通	にぶい 赤褐		
14	SK41	A	土師器	坏	20	(11.6)		[2.9]	B C	普通	にぶい 橙		器面風化
15	SK41	A	土師器	坏	25	(12.6)		[3.0]	A G	普通	にぶい 黄橙		
16	SK41	A	土師器	坏	25	(13.5)		[3.7]	A B C G	普通	橙		器面風化顕著
17	SK41	A	土師器	坏	20	(13.2)		[3.8]	A B C	不良	にぶい 黄橙		器面風化顕著
18	SK41	A	須恵器	蓋	80	(17.8)		3.9	A B F G H	普通	にぶい 黄橙	轆轤	内面轆轤ナデ
19	SK41	A	土師器	甕	10	(23.0)		[6.7]	A B D G	良好	明赤褐		№2
20	SK41	A	土師器	甕	20	(22.0)		[9.0]	A B F G	普通	橙		№1
21	SK68- 69	C	土師器	坏	25	(10.4)		[3.3]	F G	普通	にぶい 橙		内外面赤彩
22	SK68- 69	C	土師器	坏	55	(10.8)		4.1	A C D G H	普通	赤褐		内面・外面口縁部赤彩
23	SK68- 69	C	土師器	坏	60	(11.0)		3.7	A C F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
24	SK68- 69	C	土師器	坏	35	(13.6)		4.8	A C D F G	普通	明赤褐		内面・外面口縁部~胴部にかけて赤彩
25	SK68- 69	C	土師器	坏	40	(11.4)		[4.2]	D F G H	普通	橙		
26	SK68- 69	C	土師器	坏	90	12.1		4.3	A B C G	普通	にぶい 赤褐		
27	SK68- 69	C	土師器	坏	20	(14.2)		[4.3]	A B C F	良好	赤褐		内外面赤彩
28	SK68- 69	C	貝塚穴 灰泥片			長さ3.2cm 重さ19.3g	幅2.7cm	厚さ2.2cm			にぶい 橙		4孔 被熱による赤色化弱
29	SK68- 69	C	貝塚穴 灰泥片			長さ3.0cm 重さ6.7g	幅2.4cm	厚さ1.7cm			にぶい 橙		9孔 被熱による赤色化やや弱
30	SK60	C	須恵器	坏	35	(12.5)		[4.2]	A H G	良好	灰		焼成時個体の破片付着
31	SK72	C	土師器	壺	40		(5.8)	[2.8]	A C D F G	普通	にぶい 橙		
32	SK72	C	土師器	甕	15	(22.2)		[3.8]	A B C D F G	良好	橙		器面風化顕著
33	SK72	C	須恵器	蓋	10	(19.4)		[2.6]	A C G H	良好	灰	轆轤	
34	SK72	C	須恵器	高坏又は 坏身	15	(13.4)		[6.0]	A B C G	良好	灰		自然釉付着
35	SK79	C	土師器	甕	40		(6.0)	[5.9]	B C D G I	普通	にぶい 橙		外面被熱のため赤色化 器面風化
36	SK81	C	土師器	坏	20	(18.0)		[2.8]	A B C D F G	普通	橙		
37	SK81	C	土師器	甕	5			[3.5]	A B C D F G	普通	明赤褐		
38	SK81	C	土師器	甕	20	(22.6)		[6.0]	A D G	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
39	SK82	C	土師器	壺	25		(7.8)	[2.4]	C D E F	普通	明赤褐		底部本被熱 被熱のため内外面とも激しく赤色化
40	SK82	C	土師器	坏	20	(11.1)		[3.0]	A C D F G	普通	赤褐		内外面赤彩
41	SK82	C	土師器	坏	15			[2.5]	A B C D F G	普通	橙		内面・外面一部赤彩

番号	通構	区別	種別	器種	焼成率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
42	SK82	C	須恵器	壺	25	(17.6)		[20.7]	A B C	良好	灰	轆轤	青海波
43	SK83	C	土師器	甕	20	(18.4)		[21.3]	A B F G	普通	にぶい 橙		器面風化顕著 調整は殆どみえない
44	SK83	C	土師器	甕	25	(18.0)		[9.5]	A B C D F	良好	明赤褐		
45	SK85	C	土師器	坏	15	(12.7)		[2.7]	A C D F	普通	赤		内面・外面一部赤彩
46	SK85	C	土師器	甕か	20	(14.4)		[5.0]	A B D G	普通	灰黄褐		
47	SK85	C	土師器	甕	25	(19.4)		[7.8]	A C D F G	普通	茶褐		器面風化
48	SK85	C	須恵器	坏	20	(13.2)	(6.3)	3.5	A H	良好	灰	轆轤	底部回転糸切り難し
49	SK85	C	須恵器	高坏	90			[6.2]	A C G	良好	黒		四方孔8個 外側からの穿孔 上部は貫通 下部は貫通していない
50	SK85	C	鉄製品	刀子か		長さ14.71cm 重さ4.6g	幅2.3cm	厚さ0.2cm					錆化著しい
51	SK85	C	鉄製品	刀子か		長さ18.91cm 幅2.0cm 重さ27.8g	幅2.4cm	厚さ0.3cm					
52	SK87	C	土師器	甕	25		(8.2)	[4.1]	A C D F	普通	にぶい 橙		
53	SK87	C	土師器	壺	20		(6.4)	[2.1]	A B C F	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
54	SK87	C	鉄製品	鋸先か		長さ14.61cm	幅2.5cm	厚さ0.6cm	重さ16.5g				
55	SK88	C	土師器	坏	20	(14.8)		[2.8]	A D F G	普通	明赤褐		器面風化
56	SK88	C	土師器	甕か	35		(8.4)	[3.0]	A B C F G	普通	にぶい 黄橙		
57	SK88	C	土師器	白付甕	30			[8.5]	C F J	普通	明赤褐		外面へう磨き後ナデ
58	SK88	C	不明 石製品	軽石		長さ3.6cm 重さ6.2g	短径(2.5)cm	厚さ(2.2)cm					No4 元は楕円形であったと思われるが上下に折れて いる 中央斜め方向に穿孔しているが貫通していない 浮子の可能性有 多孔質安山岩
59	SK90	C	土師器	甕	45	(20.4)		[24.0]	A B C D F G	普通	橙		No2 器面風化顕著
60	SK90	C	土師器	甕	90	(18.5)	6.6	39.0	A C D F G	良好	にぶい 橙		No1 底部木葉痕
61	SK90	C	土師器	甕	30	(19.8)		[28.1]	A B C D F G	普通	橙		No2
62	SK91	C	土師器	坏	20	(13.6)		[3.0]	A B F	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
63	SK93	C	土師器	坏	50	(10.3)		3.1	A C D F G	普通	にぶい 赤褐		内面・外面口縁部赤彩 器面風化
64	SK93	C	土師器	甕	25		(7.2)	[2.2]	B C D F G	普通	にぶい 黄褐		
65	SK93	C	土師器	甕	10	(23.0)		[8.2]	A B C D F	普通	明赤褐		器面風化
66	SK93	C	土師器	甕	25	(24.2)		[6.6]	A C D F G I	普通	橙		器面風化
67	SK93	C	土師器	壺	75		8.9	[5.0]	A B C D F G	普通	にぶい 橙		
68	SK94	C	土師器	壺	40		(8.6)	[7.0]	B C G	良好	灰		底部木葉痕 内面風化顕著 ヘラナデとナデか
69	SK96	C	土師器	甕	20	(16.0)		[7.3]	A C D F G I	普通	にぶい 赤褐		器面風化
70	SK96	C	鉄製品	不明		長さ9.9cm 重さ9.9g	幅0.4cm	厚さ0.2cm					
71	SK99	C	須恵器	皿か	30		(6.5)	[1.3]	A D F G	不良	灰	轆轤	内面底部タール状付着物あり 底部回転糸切り難し
72	SK100	C	土師器	坏	40	(12.0)		[3.4]	A C G	普通	にぶい 橙		内面・外面口縁部赤彩
73	SK100	C	土師器	甕	25	(24.0)		[8.7]	A C D F G	良好	にぶい 橙		器面風化
74	SK100	C	土師器	甕	30		(5.4)	[6.1]	A D G	普通	にぶい 褐		
75	SK100	C	貝塚穴 痕瓦片			長さ2.8cm 重さ6.8g	幅2.5cm	厚さ1.8cm					2孔まで確認できる 焼熱による赤色化例
76	SK101	A	磁器	甕か	5			[1.5]	G	良好	灰白 磁器	轆轤	透明釉 見込み蛇目輪割ぎ・砂粒付着 削出し高台 肥礫系 18C 代か
77	SK101	A	磁器	甕	30		(4.0)	[3.1]	G	良好	灰白 磁器	轆轤	透明釉 高台内縁「大明年製」か 削出し高台 段付砂粒付着(多) 肥礫系 18C 後半
78	SK101	A	陶器	播鉢	5			[4.5]	A C G	良好	明赤褐 磁器		焼締 節目12本/条 厚系か 18C 中～後半
79	SK101	A	石製品	磁石		長さ18.31cm 重さ52.1g	幅2.6cm	厚さ1.6cm					鉄分・マンガ付着 上下端部以外使用 凝灰岩
80	SK102	A	陶器	片口鉢 か	50		9.2	[5.6]	A F G	良好	灰白	轆轤	灰輪 白化粘土 貫入多 高台内底輪 削出し高台 見込み・高台内砂粒付着 瀬戸・美濃系 18C 後半
81	SK102	A	陶器	香炉	30		(12.0)	[2.9]	C G	良好	灰白	轆轤	鉄輪 三足 瀬戸・美濃系 18C 前半か
82	SK102	A	陶器	播鉢	5			[3.8]	C D G	良好	黄灰	轆轤	鉄輪 見込みメチ路 節目7本/条 備前系 18C 代

番号	道標	区別	種別	器種	高さ (%)	口径 (cm)	口径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
83	SK102	A	陶器	播鉢	5			[2.8]	ACGJ	普通	にぶい 橙		焼締 在地系か 18Cか
84	SK102	A	石製品	砥石		長さ7.3cm 重さ178.9g	幅5.8cm	厚さ2.5cm					炭化物付着 沈物は層目か 使用度低い 凝灰岩
85	SK102	A	石製品	砥石		長さ11.5cm 重さ104.3g	幅4.5cm	厚さ3.5cm					割面顕著 凝灰岩
86	SK106	A	土師器	甕	10	(23.4)		[3.7]	ACD G	普通	にぶい 橙		器面風化
87	SK108	A	土師器	付付甕	70		(8.2)	[6.1]	A B F	普通	にぶい 橙		外面に煤付着少
88	SK108	A	土師器	付付甕	95		7.7	[5.6]	A B C G	普通	明赤褐		
89	SK108	A	土師器	付付甕	80			[4.0]	A C F	普通	明赤褐		器面風化
90	SK108	A	土師器	付付甕	90			[3.7]	A C E F	普通	にぶい 赤褐		器面風化
91	SK108	A	土師器	付付甕	40			[3.6]	A C D G	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
92	SK108	A	貝塚穴 灰土器			長さ3.9cm 重さ16.4g	幅3.3cm	厚さ2.0cm			にぶい 橙		4孔か 被熱なしか極削
93	SK111	A	土師器	坏	10	(11.2)		[2.6]	D G H	良好	にぶい 赤褐		内面・外面口縁部赤彩 外面に黒斑 器面風化
94	SK111	A	土師器	坏	10	(13.3)		[3.5]	A G	普通	にぶい 橙		内面・外面口縁部赤彩
95	SK122	A	土師	焙烙	5			[4.3]	E	普通	にぶい 黄橙		No2 外面に煤付着
96	SK113	A	軟質 陶器	平瓦	30	長さ22.3cm 幅16.2cm		厚さ2.8cm	D	普通	黒灰		やや砂質 井戸枠に転用
97	SK113	A	軟質 陶器	平瓦	15	長さ13.2cm 幅18.6cm		厚さ3.0cm	A F G	普通	黒灰		やや砂質
98	SK112	A	陶器	甕	90		4.6	[1.4]	G	良好	灰黄	轆轤	内面鉄輪 削出し高台 瀬戸・美濃系 18C代か 天日焼
99	SK122	A	陶器	甕	20	(11.6)		[5.5]	A	普通	灰白	轆轤	No1 鉄輪 瀬戸・美濃系 17C中頃 天日焼
100	SK126	A	陶器	皿	20		(7.1)	[1.4]	A C F	普通	灰白	轆轤	長石輪 見込み段縁 (櫛竹文) 貼付高台 瀬戸・美濃系 志野織部 17C前半
101	SK126	A	陶器	皿	60		5.0	[1.8]	A G	良好	灰黄	轆轤	外面透明釉 内面黒緑釉 削出し高台 見込み蛇目輪割さ 外面煤付着 二次的被熱か 肥前系 (内野山) 17C末~18C前半
102	SK126	A	磁器	甕	80		4.6	[1.8]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 呉須 高台内施釉 見込み蛇目輪割さ 削出し高台 登付高台跡 高台内砂粒付着 肥前系 18C後半
103	SK126	A	陶器	甕	20	(9.0)		[4.9]	A G	良好	浅黄	轆轤	鉄輪 呉須 銅輪飾 花文 窓 信楽系 18C前半
104	SK126	A	磁器	甕	40		(3.6)	[1.5]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 登付無輪 高台内一重圈縁・大明年製)か 削出し高台 肥前系 18C代
105	SK126	A	磁器	甕	20		(3.8)	[1.9]	A G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 呉須 草花文か 高台内施釉 削出し高台 登付砂粒付着 高台内一重圈縁・大明年製)か 肥前系 18C代
106	SK126	A	磁器	甕	30		(4.6)	[2.9]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 呉須 高台内施釉 草花文 削出し高台 登付砂粒付着 二次的被熱 肥前系 18C後半
107	SK126	A	磁器	付皿	15	(15.0)	(7.0)	3.0	G	良好	灰白 緻密	轆轤	鉄輪 見込み五弁花文 蛇目輪割さ 外面草花文か 削出し高台 登付砂粒付着 肥前系 18C後半
108	SK126	A	磁器	甕	90		4.0	[2.2]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 呉須 高台内施釉 草花文 高台内一重 圈縁・大明年製)か 削出し高台 登付砂粒付着多 肥前系 18C前半~中葉
109	SK126	A	陶器	小坏	70		4.0	[2.2]	F A G	良好	灰白	轆轤	鉄輪 削出し高台 瀬戸・美濃系 17C後半
110	SK126	A	磁器	小碗か	80		3.2	[1.8]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 呉須 削出し高台 高台内砂粒付着 肥前系 18C代か
111	SK126	A	磁器	瓶か	25		(9.2)	[4.3]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	外面透明釉 呉須 高台内施釉 削出し高台 登付輪付着 肥前系 18C代
112	SK126	A	陶器	皿	10		(14.4)	[4.6]	A G	良好	にぶい 赤褐	轆轤	外面鉄輪か 内面透明釉 白化胚土 登付高台内鉄輪 削出し高台 焼締跡 見込みトナリ跡 肥前系(唐津) 17C末~18C前半 三島子
113	SK126	A	陶器	播鉢	5			[6.0]	A F G	良好	灰白	轆轤	鉄輪 瀬戸・美濃系 18C中頃
114	SK126	A	陶器	播鉢	5			[4.1]	A G	良好	にぶい 黄橙	轆轤	鉄輪 瀬戸・美濃系 18C代か
115	SK126	A	陶器	播鉢	30	(34.0)	(15.0)	12.6	A C G	良好	にぶい 黄橙	轆轤	No2 焼締 内面トナリ跡3 削目8本/条 見込み・ 見込み周辺部日焼け若干 備前系 18C前半か
116	SK126	A	石製品	砥石		長さ5.4cm 重さ40.8g	幅3.7cm	厚さ1.6cm					2面使用 他は欠口 凝灰岩
117	SK126	A	石製品	砥石		長さ6.6cm 重さ36.9g	幅2.0cm	厚さ1.7cm					全面使用 凝灰岩
118	SK126	A	土師	かわら け	20	(10.8)	(5.5)	2.1	A B F	普通	橙	轆轤	底部回転糸未切離し
119	SK126	A	土師	かわら け	20	(11.6)		[1.9]	B C F	普通	橙	轆轤	
120	SK126	A	青銅 製品	銭		2.5cm×2.5cm×0.1cm		重さ1.8g					No1 寛永通寶 錆化著しい
121	SK126	A	鉄製品	不明		長さ7.9cm 重さ178.5g	幅6.7cm	厚さ4.2cm					錆化著しく器形・器種不明

番号	遺構	区別	種別	器種	残存率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
122	SK126	A	鉄製品	釘か		長さ14.6cm 重さ3.9g		幅0.4cm	厚さ10.4cm				錆化著しい 両端部欠損
123	SK126	A	石製品	石臼		長さ17.0cm		幅7.8cm	厚さ9.7cm				表面かなり丁寧に磨かれている 溝は細く使用により磨耗 石質安山岩
124	SK132	A	陶器	皿か	10	(6.8)	[1.0]	AG	良好	灰白	轆轤		長石輪 気泡あり 蘭竹文 削出し高台か 底部回転糸切の跡 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初頭
125	SK132	A	陶器	碗	20	(5.4)	(3.7)	4.7	F G	良好	灰白	轆轤	灰輪 (内肉内縁部付近のみ) 買入多 貼付け高台か 瀬戸・美濃系 18C後～19C中葉
126	SK132	A	磁器	碗	10	(9.8)		[4.6]	AG	良好	灰白 緻密	轆轤	透明輪 呉須 草花文 肥前系 18C前半
127	SK133	A	陶器	碗	25	(4.2)	[2.2]	A F G	普通	灰白	轆轤		灰輪 買入多 貼付け高台 瀬戸・美濃系 18C代か
128	SK133	A	陶器	皿	40	(7.7)	[1.2]	AG	良好	灰白	轆轤		長石輪 買入多 高台内施輪 削出し高台 見込み・高台内縁ピン跡 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初頭
129	SK133	A	陶器	皿	5	(8.4)	[1.2]	G	普通	灰白	轆轤		長石輪 買入・気泡多 豊付施輪 二重園縁・蘭竹文 貼付け高台 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初頭
130	SK133	A	陶器	皿	15	(8.5)	[0.9]	F G	良好	灰白	轆轤		長石輪 鉄輪 豊付施輪 内肉蘭竹文 削出し高台 高台内縁ピン跡 底部回転糸切の跡 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初頭
131	SK133	A	石製品	碓石		長さ5.3cm 重さ33.9g		幅2.9cm	厚さ1.1cm				上下端部以外の4面使用 凝灰岩
132	SK133	A	石製品	碓石		長さ17.4cm 重さ68.2g		幅2.6cm	厚さ2.2cm				上下端部以外の4面使用 凝灰岩
133	SK135	A	陶器	碗	40		4.0	[2.2]	AG	良好	灰白	轆轤	灰輪 貼付け高台 高台内トチ跡3 瀬戸・美濃系 18C代か
134	SK135	A	陶器	香炉	15	(9.0)	[2.0]	AG	良好	淡黄	轆轤		№3 三足 内面鉄輪 見込みトチ跡 瀬戸・美濃系 18C前半か
135	SK135	A	陶器	香炉か	75	5.4	[2.4]	A F G	良好	灰白	轆轤		灰輪 買入多 貼付け高台 見込み輪トチ跡 豊付砂粒付着 瀬戸・美濃系 18C代か
136	SK135	A	陶器	楕鉢	5		[2.6]	C G	普通	灰黄	轆轤か		鉄輪 瀬戸・美濃系 18C前半か
137	SK135	A	陶器	楕鉢	5		[3.7]	A F J	良好	にぶい 黄	轆轤		内面鉄輪 卸目7本・丹 丹波系か 18C
138	SK135	A	陶器	瓶	30	(4.4)	[1.9]	A F G	良好	灰黄	轆轤		№4 徳利 鉄輪 瀬戸・美濃系 18C後～19C中葉
139	SK135	A	陶器	瓶	80	(2.6)	[12.6]	A	良好	灰 緻密	轆轤		覆蓋 内外面鉄輪掛け分け・白化粧 胴部白刷毛目 側面に一対の孔あり 補修孔と思われる 孔径0.2～0.3cm
140	SK135	A	土器	焙烙	80	39.5	36.0	5.0	A B D H	普通	灰		
141	SK135	A	土器	焙烙	5		[5.0]	A B C F	普通	褐灰			
142	SK135	A	土器	焙烙	5		[5.4]	A B	普通	黄灰			
143	SK135	A	土器	焙烙か	5		[0.5]	A F G	普通	にぶい 黄橙			刷印あり
144	SK135	A	鉄製品	鉄線か		長さ12.7cm 重さ10.3g		幅2.0cm	厚さ0.6cm				錆化著しい
145	SK135	A	鉄製品	不明		長さ3.3cm 重さ11.8g		幅2.5cm	厚さ0.3cm				錆化著しい
146	SK135	A	青銅 製品	煙管 喉口		長さ4.2cm 重さ4.1g		幅1.2cm	径1.0cm				緑錆をふくものの遺存状態比較的良好
147	SK135	A	鉄製品	鎖巻釘		長さ15.0cm 厚さ0.5cm 重さ11.5g		幅1.5cm	幅0.6cm				錆化著しい 下半部欠損
148	SK135	A	鉄製品	針		長さ6.1cm 重さ6.2g		幅0.4cm	厚さ0.4cm				錆化著しい 釣り下げ用具か
149	SK139	A	須恵器	坏	10	(10.8)		[2.4]	B D G	普通	灰黄褐	轆轤	№15 内面塗付着か
150	SK139	A	磁器	碗	20	(9.6)	(4.8)	5.9	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明輪 呉須 高台内施輪 草花文 削出し高台 肥前系 18C前半
151	SK139	A	磁器	碗	80	4.0	[2.8]	AG	良好	灰白 緻密	轆轤		透明輪 削出し高台 豊付砂粒付着 二次的被熱か 肥前系 18C後半
152	SK139	A	磁器	碗	35	(4.7)	[1.5]	G	良好	灰白 緻密	轆轤		透明輪 呉須 高台内施輪 見込み輪割ぎ 削出し高台 見込み砂粒付着 肥前系 18C中～後半
153	SK139	A	磁器	碗	15	(11.6)		[3.5]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明輪 呉須 雲・松か 肥前系 18C代
154	SK139	A	陶器	碗	20	(4.2)	[1.4]	A	普通	灰	轆轤		№32 灰輪・鉄輪掛け分け 削出し高台 瀬戸・美濃系 18C後半
155	SK139	A	陶器	碗	80	5.0	[2.5]	A F	良好	灰白	轆轤		№45 灰輪 高台内施輪 削出し高台 瀬戸・美濃系 18C代
156	SK139	A	陶器	碗	80	4.4	[1.2]	AG	良好	灰黄	轆轤		№2 外面鉄輪 削出し高台 瀬戸・美濃系 18C代か
157	SK139	A	陶器	皿 (菊皿)	60	6.6	[2.0]	G	普通	灰黄	轆轤		灰輪外面の一部のみ 細買入多 貼付け高台 見込み内縁ピン跡 豊付トチ跡 瀬戸・美濃系 17C前半
158	SK139	A	磁器	皿	55	(13.3)	4.0	3.6	G	良好	灰白 緻密	轆轤	№7・37・55 灰輪 呉須 内面松葉文 削出し高台 見込み転目輪割ぎ内に重輪跡 (砂粒) 豊付～高台内 砂粒付着 肥前系 17C後半
159	SK139	A	陶器	皿	10	(11.0)		[1.7]	AG	普通	淡黄	轆轤	内面鉄輪 瀬戸・美濃系 19Cか
160	SK139	A	磁器	菊皿	5		[2.3]	G	良好		轆轤		灰輪 買入多 丸ノミ削ぎか 瀬戸・美濃系 17C中～後半

番号	通構	区別	種別	器種	所有率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
161	SK139	A	陶器	播鉢	5			[4.5]	A G	良好		輪積か	鉄輪 京・信楽系か 18C代
162	SK139	A	陶器	播鉢	5			[5.8]	A C F	普通	灰白	轆轤	No61 鉄輪 瀬戸・美濃系
163	SK139	A	陶器	播鉢	5			[4.7]	A C	良好	灰黄	輪積か	焼締 丹波系か 御日の層焼若干
164	SK139	A	陶器	甕	5 (13.4)			[5.0]	A G	良好	灰黄	轆轤	No39 外面特輪に漆黒輪流しか 肩部に目跡 口唇部無輪 重積跡か 瀬戸・美濃系 19C
165	SK139	A	石製品	砥石		長さ18.6cm 重さ342.1g		幅5.1cm 厚さ2.6cm					No18 炭化物多量に付着 全面使用 砂岩
166	SK139	A	青銅 製品	銭	完形	2.4cm×2.4cm×0.1cm		重さ2.7g					寛永通寶 錆化著しい
167	SK139	A	青銅 製品	銭	ほぼ 完形	2.4cm×2.4cm×0.1cm		重さ2.0g					寛永通寶 錆化著しい
168	SK139	A	鉄製品	鋸か		長さ[1.3]cm 重さ15.0g		幅[3.8]cm 厚さ0.5cm					錆化著しい
169	SK139	A	鉄製品	鋸か		長さ[12.3]cm 厚さ0.4cm		幅1.7～2.3cm 重さ101.5g					No44 錆化著しい
170	SK139	A	鉄製品	釣り金 具か		長さ[13.2]cm 重さ24.3g		径0.3×0.2cm					No64
171	SK139	A	鉄製品	吊り下 げ金具		長さ3.7cm 重さ12.1g		幅[2.3]cm 厚さ[0.4]cm					錆化著しく形状不明
172	SK139	A	鉄製品	不明		径2.9cm		厚さ0.2cm 重さ44.7g					No13 錆化著しい
173	SK139	A	鉄製品	和釘か		長さ7.0cm 重さ31.0g		幅0.4cm 厚さ0.3cm					No63 錆化著しい
174	SK139	A	鉄製品	毛抜		長さ7.3cm 重さ32.9g		幅0.7～1.6cm 厚さ0.1cm					錆化著しい
175	SK139	A	鉄製品	釘か		長さ[3.2]cm 重さ7.6g		径0.4cm					錆化著しい
176	SK139	A	青銅 製品	樽管 嵌口		長さ[6.4]cm 重さ4.5g		径0.5～1.0cm					緑銅 竹質を残す
177	SK139	A	鉄製品	不明		3.7cm×3.9cm×0.9cm		重さ19.1g					No70 錆化著しく小礫が多量に付着
178	SK139	A	鉄製品	頭巻釘		長さ[4.6]cm 重さ9.6g		頭幅0.9cm 幅0.3～0.5cm					端部欠損 錆化著しい
179	SK139	A	鉄製品	不明		重さ17.8g							2点か 錆化著しい
180	SK139	A	鉄製品	不明		長さ2.8cm		幅0.3cm 重さ5.5g					錆化著しい
181	SK139	A	青銅 製品	銅貨か		2.8cm×2.8cm×0.2cm		重さ11.7g					No43
182	SK147	A	石製品	砥石		長さ[6.0]cm 重さ87.7g		幅3.4cm 厚さ2.7cm					側面を全面使用(使用度低い) 凝灰岩
183	SK148	A	青銅 製品	銭	95	2.3cm×2.3cm×0.1cm		重さ2.0g					寛永通寶か 錆化著しい 表面とも摩滅著しい
184	SK148	A	土師器	甕	15 (11.6)			[4.8]	A C D G	普通	にぶい 黄緑		器面風化
185	SK151	A	陶器	皿	10 (12.0)	(8.0)	2.2		G	良好	灰白	轆轤	旧E-17G P6 長石輪 買入多 高台内一部施輪 側出し高台 見込み円縁ピン跡 灯明皿に転用か 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初葉
186	SK210	C	土師器	甕	75 (20.6)			[16.6]	A B C D F G	普通	にぶい 橙		
187	SK214	C	土師器	壺	20 (13.0)			[5.4]	A F G K	普通	橙		内外面赤彩 器面風化顕著
188	SK214	C	土師器	壺	25		(7.0)	[2.5]	A C F	普通	褐灰		
189	SK214	C	土師器	甕	20		(9.0)	[1.9]	A C	普通	明赤陶		
190	SK217	C	土師器	環	15 (14.0)			[2.8]	A D G H	普通	橙		器面風化
191	SK217	C	土師器	鉢	60		5.0	11.1	A C D F G	普通	にぶい 橙		割れた甕の下部を鉢に転用したと推定される 外面保存者
192	SK219	C	土師器	甕	25 (26.5)			[6.9]	C D F G H	良好	にぶい 赤褐		器面磨滅 調整は殆どみえない
193	SK219	C	土師器	高坏	80		(8.6)	[6.3]	A G H	良好	にぶい 赤褐		脚台部内面赤彩 摺押え
194	SK219	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ2.3cm 重さ1.5g		幅1.5cm 厚さ1.0cm			にぶい 橙		1孔 被熱により赤色化
195	SK227	C	土師器	環	20 (13.7)			[3.9]	A F G	良好	にぶい 赤褐		内面・外面口縁部赤彩
196	SK227	C	土師器	環	5			[3.8]	A C G	普通	にぶい 橙		内面・外面口縁部赤彩
197	SK228	C	土師器	環	20 (12.6)			[2.7]	A G	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
198	SK228	C	土師器	環	10 (12.1)			[2.1]	A B F G I	普通	橙		器面風化顕著
199	SK228	C	須恵器	高台付 坏	10		(8.5)	[1.1]	A G H	普通	灰	轆轤	
200	SK228	C	土師器	甕	40 (22.0)			[5.9]	A B D G	良好	にぶい 褐		
201	SK228	C	土師器	甕	10 (20.6)			[4.4]	A B D G H	良好	にぶい 橙		

番号	通構	区別	種別	器種	規格率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
202	SK228	C	須恵器	蓋	20	(16.0)		[2.5]	A C E H	普通	黄灰	轆轤	
203	SK228	C	須恵器	蓋	10	(16.0)		[2.0]	A C G H	良好	灰	轆轤	
204	SK229	C	須恵器	坏	10		(9.0)	[1.2]	A E	普通	灰	轆轤	底部回転へう削り
205	SK229	C	土師器	甕	25		(5.1)	[2.6]	A F G	普通	赤褐		
206	SK229	C	須恵器	蓋	5			[1.2]	A C F G	不良	灰	轆轤	
207	SK229	C	青磁	皿	10	(13.0)		[2.1]	G	良好	灰白	轆轤	中国産か 17Cか
208	SK233	C	土師器	坏	5	(14.0)		[2.3]	A C F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
209	SK233	C	土師器	甕	25		(5.0)	[1.1]	A C D G	普通	明褐		器面風化顕著 底部木炭痕
210	SK234	C	土師器	坏	10	(12.0)		[2.8]	A B C F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
211	SK234	C	土師器	坏	10	(13.0)		[1.8]	A C D F	普通	にぶい 黄橙		
212	SK235 236	C	土師器	高坏	20		(11.1)	[2.8]	A B C D F K	良好	明赤褐		
213	SK235 236	C	土師器	甕	15		(4.4)	[2.7]	A B D F G	普通	橙		
214	SK238	C	土師器	台付甕	90			[4.3]	A B C D F J	普通	にぶい 黄橙		内面炭化物微量付着
215	SK238	C	土師器	甕	20	(15.0)		[9.4]	A C E F J	普通	明赤褐		器面風化顕著 被熱のため内外面とも赤色化
216	SK239	C	土師器	坏	15	(15.0)		[3.1]	B C D F	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
217	SK239	C	土師器	坏	15	(12.0)		[3.1]	A B F G	普通	赤褐		底部外面黒斑
218	SK240	C	土師器	坏	25	(11.4)		[2.6]	A C D F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
219	SK240	C	土師器	甕	20	(25.0)		[8.6]	A B C G H	普通	橙		
220	SK244	C	土師器	甕	20		(8.4)	[4.0]	B C D E F	普通	明赤褐		底部木炭痕
221	SK244	C	土師器	甕	35		(5.6)	[11.8]	B C D F	普通	橙		
222	SK244	C	土師器	坏	10	(13.4)		[2.5]	A C D F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
223	SK244	C	土師器	坏	15	(14.5)		[3.4]	A B C D G	普通	にぶい 橙		
224	SK244	C	土師器	壺	20		(8.0)	[3.3]	A C F G J	普通	にぶい 黄橙		器面風化顕著
225	SK246	C	須恵器	蓋	40	(15.4)		[4.0]	A G	良好	灰	轆轤	No1
226	SK247	C	土師器	甕	20	(18.3)		[6.7]	A C F G	普通	にぶい 橙		
227	SK248	C	土師器	甕	30		(8.6)	[2.0]	A B C D F	普通	褐灰		
228	SK250	C	土師器	甕	30		(6.0)	[2.8]	A C F J	普通	明赤褐		
229	SK253	C	土師器	坏	20	(12.5)		[2.7]	A C F	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩 器面風化
230	SK253	C	土師器	坏	5	(12.0)		[2.1]	A F J	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
231	SK253	C	土師器	瓶	65				A F	普通	褐灰		把手部分
232	SK253	C	鉄製品	刀子か									錆化著しい
233	SK255	C	土師器	甕	15	(23.6)		[3.8]	A B C D F I	普通	明赤褐		
234	SK256	C	土師器	坏	40			[4.1]	A D G	普通	にぶい 赤褐		内面・外面口縁部赤彩
235	SK256	C	土師器	壺	15	(13.1)		[3.6]	A B D F G	普通	明赤褐		内外面赤彩
236	SK256	C	土師器	壺	35		6.6	[10.0]	A B C D F G	普通	褐		外面赤彩 器面風化顕著
237	SK260	C	土師器	坏	10	(12.0)		[4.5]	A F G	普通	赤褐		内面・外面口縁部赤彩 外面剥離散しい
238	SK262	C	土師器	甕	5	(20.8)		[2.5]	A G	普通	橙		器面風化
239	SK262	C	土師器	高坏	30	(18.8)		[4.4]	A B C F H	普通	橙		内外面赤彩ごく僅かに残る 器面風化顕著
240	SK262	C	土師器	甕	10	(18.2)		[3.4]	A B F G	普通	明赤褐		器面風化顕著
241	SK264	C	土師器	坏	5	(14.2)		[2.6]	A C D F G	普通	にぶい 橙		内面・外面口縁部赤彩 器面風化
242	SK264	C	土師器	壺	30		(8.6)	[4.9]	B C F	普通	にぶい 橙		器面風化
243	SK265	C	弥生 土器か	鉢か	5			[5.8]	B C G	普通	にぶい 赤褐		

番号	遺構	区別	種別	器種	残存率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
244	SK267	C	土師器	坏	30	(12.0)		[2.9]	A B E G	普通	明赤褐		器面風化顕著
245	SK267	C	土師器	甕	20		(6.0)	[3.5]	A B C F G	普通	灰黄褐		
246	SK267	C	土師器	甕	25	(13.4)		[4.6]	A B F G I	普通	にぶい 橙		器面風化顕著
247	SK267	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ2.5cm 重さ18.2g	幅2.4cm	厚さ1.6cm			浅黄橙		3孔 被熱による赤色化削 (又はナシ)
248	SK267	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ3.8cm 重さ11.9g	幅2.2cm	厚さ2.0cm			浅黄橙		2孔 被熱による赤色化削 (又はナシ)
249	SK267	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ1.8cm 重さ1.4g	幅1.5cm	厚さ1.1cm			橙		2孔 被熱による赤色化削
250	SK267	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ1.6cm 重さ1.2g	幅1.4cm	厚さ1.1cm			橙		2孔 被熱による赤色化削
251	SK267	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ1.8cm 重さ1.7g	幅1.5cm	厚さ1.4cm			橙		3孔 被熱による赤色化ナシか
252	SK268	C	土師器	甕	90		9.3	[2.5]	A C F G	普通	黒褐		
253	SK269	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ2.4cm 重さ1.7g	幅1.5cm	厚さ1.2cm			乳白		1孔 被熱により僅かに赤色化
254	SK271	C	土師器	坏	95	15.6		5.1	A D G	良好	赤		No1 内面・外面口縁部~胴部赤彩 下部黒斑 赤彩があったとしても見えない
255	SK271	C	土師器	坏	85			[4.2]	A C G	良好	にぶい 赤褐		No2 内外面赤彩 外面は風化顕著 調整痕が殆ど みえない
256	SK272	C	貝塚穴 痕泥岩			長さ4.5cm 重さ27.5g	幅2.7cm	厚さ2.5cm			にぶい 橙		3孔 被熱による赤色化顕著
257	SK277	C	土師器	壺	80	(17.2)		[21.5]	A E F G	普通	にぶい 黄橙		No1 赤彩
258	SK283	C	石製品	紡錘車		上部2.8cm 孔径0.5cm	下部4.1cm 重さ36.9g	厚さ1.7cm			灰白		No1 側面に細かな擦痕多数 滑石製
259	SK285	C	不明 石製品	軽石		長さ8.1cm 重さ78.6g	幅6.1cm	厚さ2.9cm					No1 浮子か 多孔質安山岩
260	SK287	C	土師器	坏	25	(13.4)		[4.5]	A B D F G	普通	橙		赤彩 器面風化 調整痕が殆どみえない
261	SK290	C	土師器	坏	95	11.9		3.7	A C F G J	普通	灰褐		No5 器面風化
262	SK290	C	土師器	甕	10	(14.6)		[2.9]	A C F J	普通	橙		器面風化顕著
263	SK290	C	土師器	甕	15	(20.0)		[1.9]	A B C F	普通	明赤褐		No1
264	SK292	C	土師器	甕	15	(22.3)		[5.1]	A B C D F G I	普通	橙		No3
265	SK292	C	土師器	甕	25	(21.2)		[4.3]	A B D F G	良好	にぶい 橙		No3
266	SK293	C	土師器	坏	10	(14.4)		[2.0]	A C D F G	普通	橙		内面・外面口縁部赤彩
267	SK293	C	土師器	坏	20	(12.2)		[3.5]	A B C D F G	普通	にぶい 橙		内面・外面口縁部赤彩
268	SK293	C	土師器	坏	10	(15.8)		[3.4]	A C D F G	良好	赤褐		
269	SK293	C	土師器	坏	25	(11.0)		[2.5]	B C D E F	普通	明赤褐		器面風化顕著
270	SK293	C	土師器	坏	15			[2.6]	A C D F G	普通	赤褐		内外面赤彩 器面風化顕著
271	SK293	C	土師器	甕	60		4.8	[1.2]	A B C D F G	普通	にぶい 褐		
272	SK293	C	土師器	甕	15		(8.0)	[2.6]	A B C D	普通	橙		
273	SK293	C	土師器	甕	10	(24.2)		[4.1]	A C D F G	普通	浅黄橙		No3 器面風化顕著
274	SK293	C	土師器	壺	40	(24.6)		[6.0]	A B C D G H	普通	橙		No2 器面風化顕著
275	SK293	C	土師器	甕	15	(23.8)		[4.3]	B C D F I	普通	明赤褐		
276	SK293	C	土師器	壺	30		(8.0)	[4.7]	C F G	良好	にぶい 橙		
277	SK293	C	土師器	瓶	85	長さ5.8cm 厚さ3.2cm	幅5.8cm		A C F G	普通	にぶい 黄橙		把手部分
278	SK293	C	石製品	軽石		長さ8.0cm 重さ66.1g	幅5.8cm	厚さ4.5cm			暗灰黄		浮子か
279	SK295	C	土師器	埴又は 片	10	(18.8)		[2.8]	C F G H	普通	明赤褐		器面風化
280	SK315	A	土師器	かわらけ	80		5.6	[1.4]	D G H	普通	にぶい 黄橙	轆轤	旧 E-17G P193 底部回転糸切り難し
281	SK315	A	鉄製品	刀子か		長さ [6.4] cm	幅2.8cm	厚さ0.1cm			重さ22.7g		旧 SK149 錆化著しい
282	SK345	C	土師器	坏	90	14.7		4.2	A C D F G	良好	にぶい 褐		旧 SX21 No4
283	SK345	C	土師器	甕	60	23.0		[9.6]	A B D F G I	不良	橙		旧 SX21 No3 器面風化顕著
284	SK352	C	土師器	坏	25	(12.4)		[2.9]	A B F G	普通	橙		器面風化顕著

8. 井戸跡

検出された井戸跡は90基である。内訳はA区が74基、C区が16基で、A区が圧倒的に多い。

第2号井戸跡 (第191図)

I-9グリッドに位置する。重複関係はない。

遺物は出土しなかった。周辺遺構との関連から、6世紀第2四半期と推定される。

第3号井戸跡 (第191図)

J-9グリッドに位置する。重複関係はない。

遺物は出土しなかった。周辺遺構との関連から、6世紀第2四半期と推定される。

第4号井戸跡 (第191図)

J-8グリッドに位置する。第60号土壌を切っていると判断した。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

遺物は出土しなかった。

第5号井戸跡 (第191・203図)

M-6グリッドに位置する。第4号方形周溝墓より新しい。

遺物は、須恵器の長頸壺1点(1:8世紀第1四半期)が出土した。

第6号井戸跡 (第191図)

N-5グリッドに位置する。第14号住居跡・第349号土壌を切っていると判断した。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

遺物は出土しなかった。

第7号井戸跡 (第191図)

O-4グリッドに位置する。第6号方形周溝墓を切っている。危険防止のため、完掘に至らなかった。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

遺物は出土しなかった。

第8号井戸跡 (第191図)

M-5グリッドに位置する。第14号住居跡・第281号土壌を切っていると判断した。

遺物は出土しなかった。

第9号井戸跡 (第191図)

M-5グリッドに位置する。重複関係はない。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

遺物は出土しなかった。

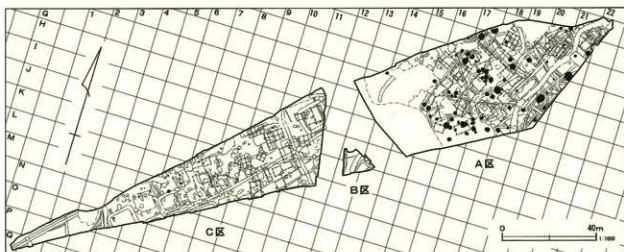
第10号井戸跡 (第191図)

N-5グリッドに位置する。第6号方形周溝墓を切っている。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

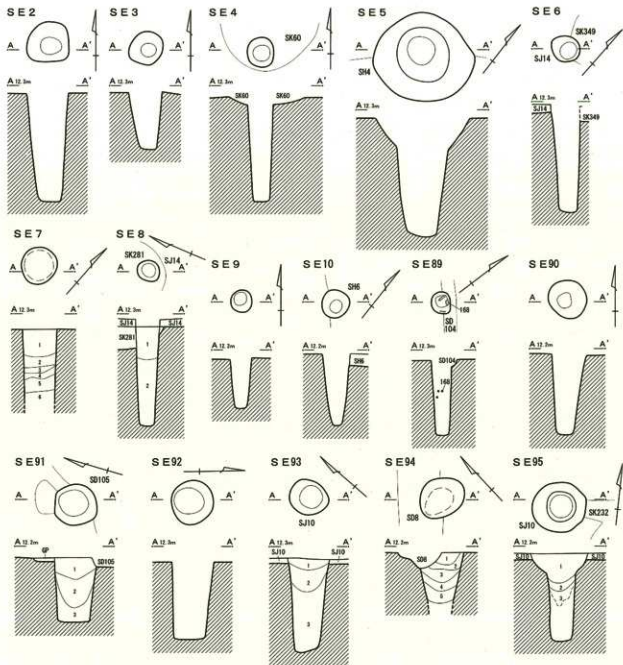
遺物は出土しなかった。

第11号井戸跡 (第192図)

B-21グリッドに位置する。重複関係はない。遺物は出土しなかった。



第190図 井戸跡分布図



- SE 7**
- 1 埴輪色土 黄褐色土ブロック(1.0cm)・焼土粒(0.2~0.3cm)微量
 - 2 埴輪色土 黄褐色土ブロック(0.2cm)やや多 (1.0cm)少
 - 3 黒褐色土 黄褐色土ブロック(0.5~1.5cm)多 褐色土ブロック(0.2~0.5cm)やや多 焼土粒(0.2~0.5cm)少
 - 4 埴輪色土 黄褐色土ブロック(0.2~0.7cm)・褐色土ブロック(0.2~0.7cm)多
 - 5 埴輪色土 黄褐色土ブロック(0.2~0.5cm)・褐色土ブロック(0.2~0.5cm)やや多
 - 6 埴輪色土 黄褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少 砂質
- SE 8**
- 1 埴輪色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)・焼土ブロック(0.5cm)少しまり強 粘性やや弱
 - 2 埴輪色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)微量 焼土ブロック(0.5cm)少しまり強 粘性やや弱
- SE 91**
- 1 黒褐色土 地山粒・地山ブロック少 しまり強 粘性弱
 - 2 埴輪色土 地山粒・地山ブロックやや多 しまり強 粘性弱
 - 3 埴輪色土 地山粒・地山ブロック多 しまり強 粘性弱

- SE 93**
- 1 埴輪色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5cm)少しまり強 粘性弱
 - 2 黒褐色土 地山ブロック(0.5cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)微量しまり強 粘性弱
 - 3 埴輪色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)・焼土ブロック(0.5~1.0cm)やや多しまり強 粘性弱
- SE 94**
- 1 黒褐色土 焼土粒・炭化物少
 - 2 埴輪色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)やや多
 - 3 埴輪色土 地山ブロック(0.2~1.0cm) (2.0~5.0cm)多
 - 4 埴輪色土 地山ブロック(0.2~1.0cm)若干
 - 5 埴輪色土 地山ブロック(0.5~1.0cm) (2.0~3.0cm)やや多
- SE 95**
- 1 黒色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(0.5cm)少
 - 2 黒色土 焼土ブロック(0.5cm)・地山ブロック(1.0~2.0cm)少
 - 3 埴輪色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)少



第191図 井戸跡(1)

第12号井戸跡 (第192図)

A-20グリッドに位置する。第2号周溝状遺構・第23号溝跡を切っている。

遺物は出土しなかった。

第13号井戸跡 (第192図)

A・B-20グリッドに位置する。第2号周溝状遺構を切っている。

遺物は出土しなかった。

第14号井戸跡 (第192・203・215図)

A・B-20グリッドに位置する。ピットを切っている。

陶器皿2点(2・3)と木製品1点(1)が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第15号井戸跡 (第192・203・204図)

B-21グリッドに位置する。第26・61号溝跡を切っていると判断した。

遺物は陶磁器を中心として、28点(4～31)が出土した。灯明皿(7)は欠口が黒味を帯びており、油が染み込んだ結果と考えられる。なおその他に、図化には至らなかったが、肥前系陶器碗・皿(18C)、瀬戸・美濃系陶器碗・徳利(18C)、信楽系陶器壺、青磁碗の小破片が出土している。なお、須恵器の破片(9世紀第3四半期)が出土している。近世の井戸跡と推定される。

第16号井戸跡 (第192・205図)

B-20グリッドに位置する。第53号掘立柱建物跡P1・第22号溝跡・ピットを切っている。

図化できた遺物は2点(32・33)である。近世の井戸跡と推定される。

第17号井戸跡 (第192・205図)

C-18、D-18・19グリッドに位置する。第42・43号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘に至らなかった。

図化できた遺物は5点(34～38)である。なおその他に図化には至らなかったが、肥前系磁器碗(17C代)、瀬戸・美濃系磁器碗(19C前半)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第18号井戸跡 (第193・205・206図)

C-21グリッドに位置する。東側の一部は、調査区外に続く。第46号溝跡を切り、第26号溝跡・ピットに切られている。危険防止のため、完掘に至らなかった。

図化できた遺物は7点である(39～45:9世紀第3四半期)。なおその他に図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系陶器皿(17Cか)と考えられる小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第19号井戸跡 (第193図)

E-18グリッドに位置する。第5号周溝状遺構・第41号溝跡・第157号土塊を切っている。危険防止のため、完掘に至らなかった。

平瓦を一巡させ、これを積み上げて井戸枠(側)を構築し、枠外周に粘土ブロックを主とした土で覆い、次いで掘り方全体に土を充填した井戸である。井戸枠の径は0.80×0.75mの円形である。全体の形状は、円筒形に近い。

土師器片が出土したが、図化には至らなかった。

第20号井戸跡 (第193・206・215図)

D-18グリッドに位置する。第7号周溝状遺構を切っている。

板碑3点(46～48)と木製品1点(2)、および図化には至らなかったが土師器の小破片が出土した。中・近世の井戸跡と推定される。

第21号井戸跡 (第194図)

G-17グリッドに位置する。第80号井戸跡に切られていると判断した。

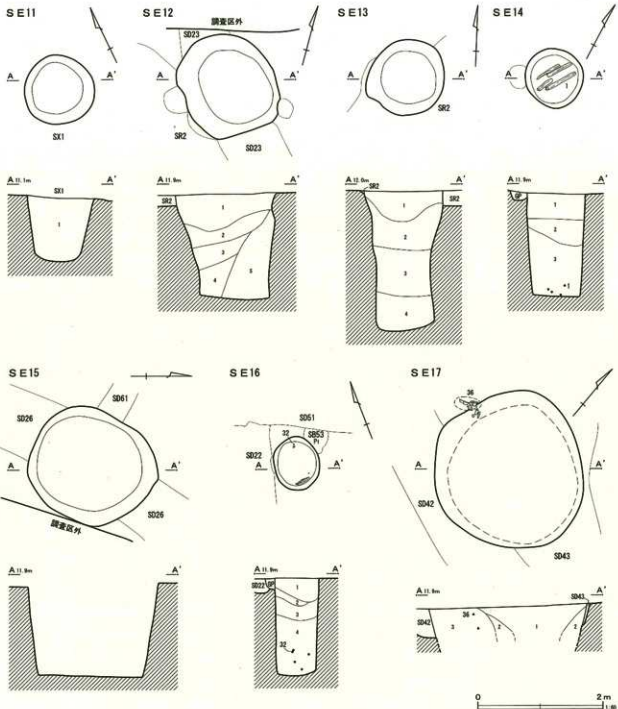
遺物は出土しなかった。

第22号井戸跡 (第193・207図)

D-17グリッドに位置する。第7号周溝状遺構を切っている。第23号井戸跡との新旧関係は不明。

図化できた遺物は8点(49～56)である。なおその他に図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器天目碗(17C中頃)・播鉢(18C代)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第23号井戸跡 (第193図)



SE11 黒褐色粘土 有機物含む

SE12

- 1 褐色土 褐色粘土粒(0.3~0.8cm)多
- 2 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~1.5cm)・褐色粘土粒(0.5cm)多
暗灰色粘土粒(2.0~5.0cm)やや多
- 3 暗褐色土 褐色粘土粒(2.0~5.0cm)・黒色土ブロック(0.2~10.0cm)多
- 4 暗褐色土 褐色粘土粒(2.0~5.0cm)多 黒色土ブロック(3.0cm)少
- 5 褐色土 黒色土ブロック(3.0~10.0cm)やや多 堆山粒(1.0cm)少

SE13

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒(0.2~0.5cm)・褐色粘土粒(0.5cm)多
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~1.0cm)やや多 灰褐色粘土粒(1.0cm)多
- 3 灰褐色粘土 褐色粘土粒(0.2cm)少 粘性強
- 4 暗灰色粘土 青緑色粘土粒(1.0~3.0cm)やや多 粘性強

SE14

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~1.0cm)・炭化物(0.2~0.5cm)微量
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒(2.0~3.0cm)少
- 3 暗褐色土 暗灰色粘土粒(2.0~3.0cm)少

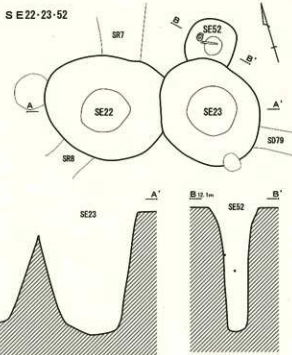
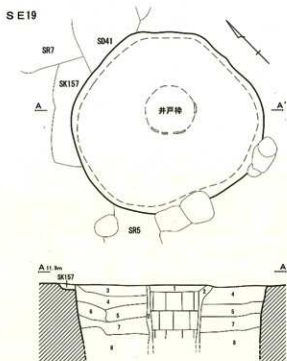
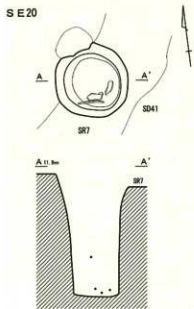
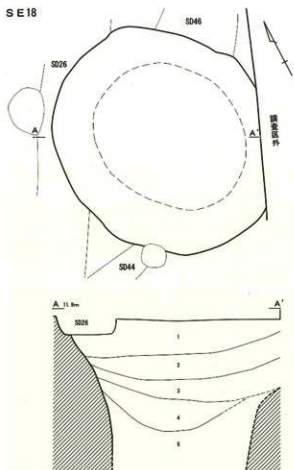
SE16

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)若干
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多
- 3 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.8~1.0cm)少
- 4 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(2.0~3.0cm)少

SE17

- 1 褐色土 黒褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少
- 2 褐色土 黒褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少
- 3 褐色土 黒褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少
- 4 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多 埋戻し土

第192図 井戸跡(2)



- SE 18
- 1 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm~4.0cm)やや多 土師器片含む
 - 2 黒褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm~4.0cm)少
 - 3 黒褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~2.0cm)少 有機物含む
 - 4 黒褐色土 青緑色粘土粒(1.0~2.0cm)少 有機物含む
 - 5 黒褐色土 青緑色粘土粒(1.0~5.0cm)やや多 有機物含む 粘性強

- SE 19
- 1 灰白色土 粘土ブロックを主とする層 埋戻し土
 - 2 黄褐色土 ロームを起源とする黄褐色土ブロック層 蓋込め土
 - 3 黄褐色土 ロームを起源とする黄褐色土ブロック(3.0~5.0cm)多
 - 4 灰白色土 粘土ブロックを主とする層
 - 5 黄褐色土 ロームを起源とする黄褐色土ブロック(3.0~5.0cm)多
 - 6 灰白色土 粘土ブロックを主とする層
 - 7 黄褐色土 ロームを起源とする黄褐色土ブロック(3.0~5.0cm)多
 - 8 灰白色土 粘土ブロックを主とする層

第193図 井戸跡(3)

D-17グリッドに位置する。第79号溝跡を切っている。第22・52号井戸跡との新旧関係は不明。

遺物は出土しなかった。

第24号井戸跡 (第194図)

D-20グリッドに位置する。第40号溝跡を切っていると判断した。

遺物は出土しなかった。

第25号井戸跡 (第194図)

F-17・18グリッドに位置する。第54号溝跡を切っていると判断した。危険防止のため、完掘に至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第26号井戸跡 (第194図)

F・G-17グリッドに位置する。危険防止のため、完掘に至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第27号井戸跡 (第194・207・215図)

D-17グリッドに位置する。第8号周溝状遺構を切っている。

図化できた遺物は陶磁器など7点(57～63)と下駄(3)の計8点である。なおその他に、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系陶器の播鉢・皿(ともに17C代)・天目碗の小破片が出土している。近世の井戸跡と推定される。

第28号井戸跡 (第194図)

F-17グリッドに位置する。第77号掘立柱建物跡P8・第75号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘に至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第29号井戸跡 (第195・207・208・215図)

D-16・17グリッドに位置する。第9号周溝状遺構を切っている。危険防止のため、完掘に至らなかった。

図化できた遺物は、陶磁器など15点(64～78)と木製品2点(4・5)の計17点である。なおその他に、図化には至らなかったが、青磁碗・皿、肥前系陶器皿(17C後半～18C前半)、瀬戸・美

濃系陶器碗・皿(17C)の小破片が出土している。近世の井戸跡と推定される。

第30号井戸跡 (第195・215・216図)

E-16・17グリッドに位置する。第329号土塊を切っていると判断した。

木製品11点(6～16)と、図化には至らなかったが瀬戸・美濃系陶器皿(17C後半か)、信楽系陶器皿(18Cか)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第31号井戸跡 (第195・208・216図)

F-15・16グリッドに位置する。第10号周溝状遺構を切っている。

図化できた遺物は、土器など5点(79～83)と木製品2点(17・18)であるが、その他に、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器皿(17C後半か)が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第32号井戸跡 (第195・208図)

D・E-20グリッドに位置する。第26号溝跡を切っている。その他は確認できなかった。

図化できた遺物は6点(84～89:7世紀第3四半期)である。

第33号井戸跡 (第196・208・209・216図)

F-15グリッドに位置する。第74号溝跡との新旧関係は確認できなかった。

図化できた遺物は、土器など10点(90～99)と木製品7点(19～25)である。なおその他に、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系陶器皿(18C)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第34号井戸跡 (第196図)

C-18グリッドに位置する。重複関係はない。

遺物は出土しなかった。他遺構との重複関係から、9世紀第3四半期と推定される。

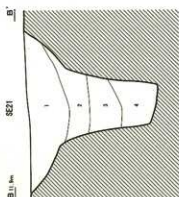
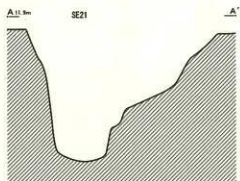
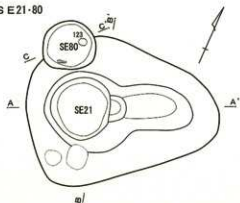
第35号井戸跡 (第196図)

G-17グリッドに位置する。重複関係はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。

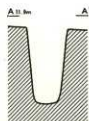
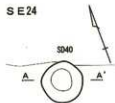
遺物は出土しなかった。

第36号井戸跡 (第196・209図)

SE21-80



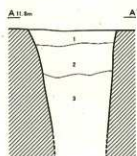
SE24



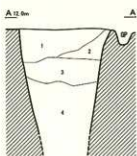
SE21

- 1 暗褐色土 灰化微粒 (0.1~0.2cm) 少 均質
- 2 暗褐色土 黄緑灰色粘土ブロック (0.5~0.8cm) 微量
- 3 黒灰色土 緑灰色シルトブロック (1.0~2.0cm) 少
- 4 緑灰色土 黒灰色土ブロック (2.0~3.0cm) 状に少

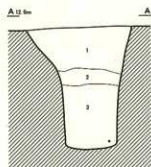
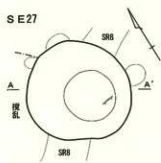
SE25



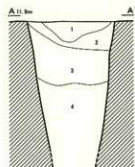
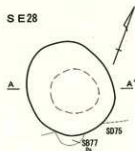
SE26



SE27



SE28



0 2m 1m

SE25

- 1 暗褐色土 褐色粘土粒 (2.0~5.0cm) ・青緑色粘土粒 (2.0~7.0cm) 多
- 2 黒色土ブロック (7.0cm) 少
- 3 暗褐色土 褐色粘土粒 (0.2~0.5cm) やや多 褐色粘土粒 (2.0~5.0cm) 少
- 4 暗褐色土 褐色粘土粒 (0.5cm) 微量 有機物含む

SE26

- 1 暗褐色土 灰褐色粘土粒 (0.5~0.8cm) 少 黒褐色土ブロック (2.0~4.0cm) やや多
- 2 灰褐色土 黄褐色粘土粒 (0.5~1.0cm) 少 黒褐色土ブロック (1.0~3.0cm) 微量
- 3 褐色土 黄褐色粘土粒 (0.5cm) やや多
- 4 黒褐色土ブロック (1.0~4.0cm) ・褐色粘土粒 (2.0~7.0cm) 少

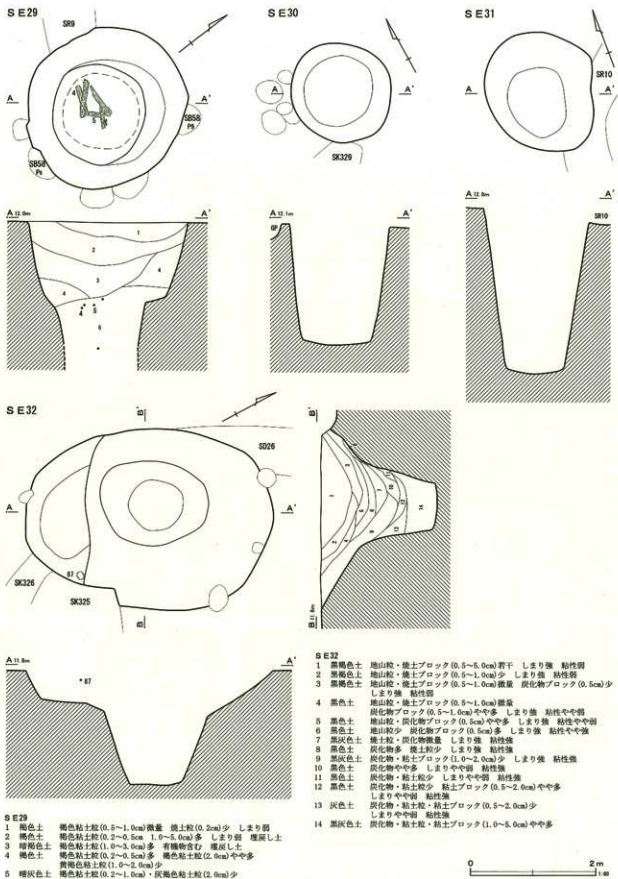
SE27

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (1.0~5.0cm) 多 埋戻し土
- 2 暗褐色土 有灰色粘土粒 (2.0~4.0cm) やや多 埋戻し土
- 3 暗灰色土 有機物含む 粘性強

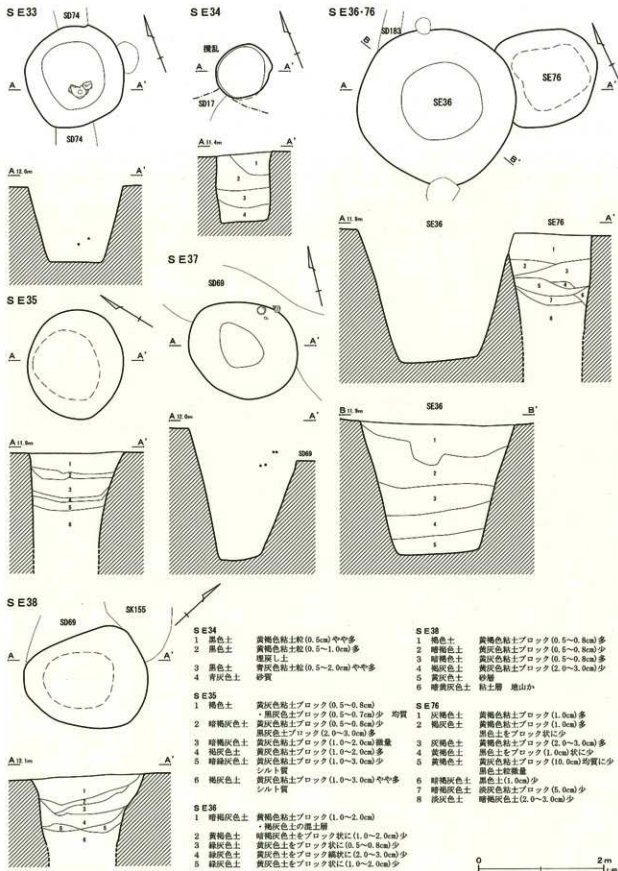
SE28

- 1 灰褐色土 黄褐色粘土粒 (1.0~3.0cm) ・黒色土ブロック (0.5~1.0cm) やや多 埋戻し土
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (0.5~1.5cm) 少 黒色土ブロック (1.0~2.0cm) やや多
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (2.0~5.0cm) ・黒色土ブロック (2.0~3.0cm) ・褐色粘土粒 (2.0~3.0cm) 多 埋戻し土
- 4 暗褐色土 黄褐色粘土粒 (2.0cm) 少 黒色土ブロック (0.5~1.0cm) やや多

第194図 井戸跡 (4)



第195図 井戸跡(5)



第196図 井戸跡 (6)

G-16・17グリッドに位置する。第76号井戸跡を切っていると判断した。

図化できた遺物は磁器の碗1点(100)である。図化には至らなかったが瀬戸・美濃系陶器瓶(18Cか)が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第37号井戸跡(第196・209図)

D-16・17グリッドに位置する。

図化できた遺物は5点(101～105)である。図化には至らなかったが瀬戸・美濃系磁器碗(19C)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第38号井戸跡(第196図)

D-17グリッドに位置する。第155号土壌・第69号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第39号井戸跡(第197・209・210・216図)

D-18グリッドに位置する。第79号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

図化できた遺物は土器・陶器など10点(106～115)と木製品1点(26)の計11点である。なおその他に、図化には至らなかったが、肥前系磁器皿(18C)や瀬戸・美濃系陶器甕・鉢(19C前半か)の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第40号井戸跡(第197図)

F-19グリッドに位置する。第11号周溝状遺構を切っている。

遺物は出土しなかった。

第41号井戸跡(第197・210・216図)

F-19グリッドに位置する。第11号周溝状遺構を切っている。

図化できたのは陶磁器等8点(116～123)、木製品12点(27～38)の計20点である。なおその他に、図化には至らなかったが、肥前系磁器碗(18C)、や常滑系陶器甕の小破片が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第42号井戸跡(第197・216図)

F-19グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。

図化できたのは側板1点(39)である。

第43号井戸跡(第197・210・217図)

C-19グリッドに位置する。1基のピットに切られているが、他は新旧関係不明。

図化できたのは播鉢(124)と木製品7点(40～46)の計8点である。なおその他に、図化には至らなかったが、船載品と推定される陶器皿の小破片が出土している。近世の井戸跡と推定される。

第44号井戸跡(第197・210・211・217図)

B-17グリッドに位置する。遺構の半分ほどが攪乱を受けている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

図化できた遺物は陶器・石製品(125～130)と木製品(47・48)の計8点である。図化には至らなかったが、肥前系磁器碗(18C後～19C前半)の小破片が出土している。近世と推定される。

第45号井戸跡(第197・210・217図)

C-18グリッドに位置する。第43号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

播鉢6点(131～136)と木製品3点(49～51)が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第46号井戸跡(第198・217図)

E-18グリッドに位置する。第5号周溝状遺構を切っている。中・近世の井戸跡と推定される。

板材1点(52)が出土した。

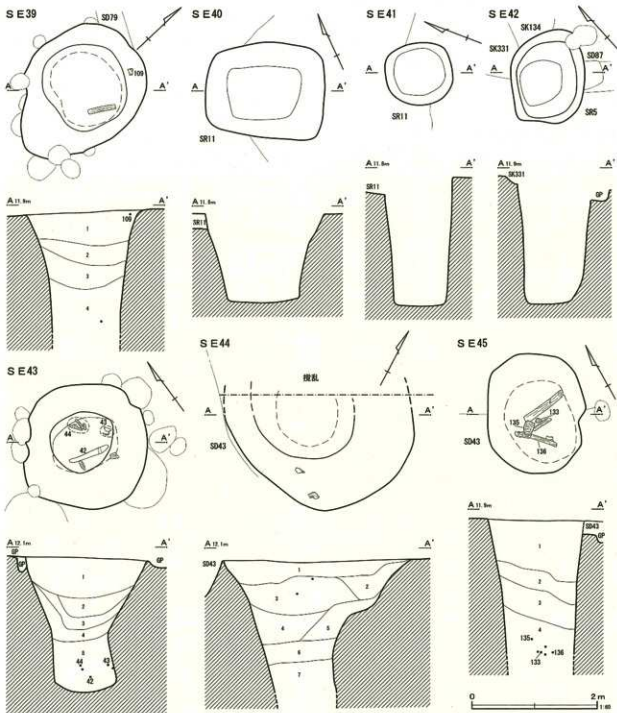
第47号井戸跡(第198図)

E-19グリッドに位置する。第176号溝跡に切られていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第48号井戸跡(第198・212図)

E-15グリッドに位置する。遺構の重複はない。板碑1点(137)が出土した。中・近世の井戸跡



- SE39**
- 1 褐色土 灰褐色粘土粒(0.5~2.0cm)多 埋戻し土
 - 2 灰褐色土 褐色粘土粒(0.2~2.0cm)少
 - 3 灰褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.4cm)やや多
 - 4 灰褐色土 青灰色粘土粒(0.2~0.5cm)少

- SE43**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少量
黄褐色土をブロック状に(3.0~5.0cm)少
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.8cm)を均質に少
 - 3 暗褐色土 灰白色粘土ブロック(0.2~0.3cm)を均質に少
 - 4 暗褐色土 灰白色粘土ブロック(0.2~0.3cm)を均質に少
 - 5 褐色土 黄褐色粘土ブロック(3.0~5.0cm)多

- SE44**
- 1 褐色土 褐色粘土粒(1.0cm)少 黄土粒(0.2~0.5cm)微量
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(1.0cm)多
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.7cm)少
 - 4 黄褐色土 黄褐色粘土粒(1.0cm)、灰褐色粘土粒(1.0~2.0cm)少
 - 5 黄褐色土 褐色粘土粒(1.0~1.5cm)多
 - 6 暗褐色土 灰褐色粘土粒(1.0cm)やや多
 - 7 暗褐色土 灰褐色粘土粒(2.0~5.0cm)少

- SE45**
- 1 黒褐色土 褐色粘土粒(0.2~1.0cm)、黄褐色粘土粒(2.0~4.0cm)多
黄土粒(0.3cm)少 埋戻し土
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(10.0cm)やや多
紫色ブロック(2.0cm)多 埋戻し土
 - 3 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.7cm)少
 - 4 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.5cm)微量 有機物含む

第197図 井戸跡(7)

と推定される。

第49号井戸跡 (第198・217図)

E-13グリッドに位置する。遺構の重複はない。底板1点(53)が出土した。中・近世の井戸跡と推定される。

第50号井戸跡 (第198図)

C-16グリッドに位置する。第155号土壌・第69号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第51号井戸跡 (第198・217図)

D-16グリッドに位置する。第133号溝跡を切っている。

漆椀1点(54)が出土した。中・近世の井戸跡と推定される。

第52号井戸跡 (第193・212図)

D-17グリッドに位置する。第61号掘立柱建物跡を切っている。第23号井戸跡との新旧関係は不明である。

須恵器の坏1点(138:7世紀第4四半期)が出土した。その他に自然木が2点出土したが、図化には至らなかった。

第53号井戸跡 (第199・212図)

C-17グリッドに位置する。重複関係から中・近世の井戸跡と判断した。

土師器の壺1点(139)が出土した。

第54号井戸跡 (第198・212図)

C-18グリッドに位置する。ピットを切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

須恵器の高台付坏(140)と陶器皿(141)が1点ずつ出土した。近世の井戸跡と推定される。

第55号井戸跡 (第198・212図)

D-20グリッドに位置する。第20号溝跡を切っていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

中・近世の石白1点(142)が出土した。

第56号井戸跡 (第199図)

E-18グリッドに位置する。重複遺構はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第57号井戸跡 (第199・212・217図)

E・F-16グリッドに位置する。第329号土壌に切られている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

板碑1点(143)と木製品3点(55～57)が出土した。中・近世の井戸跡と推定される。

第58号井戸跡 (第199図)

E・F-16グリッドに位置する。第329号土壌を切っていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第59号井戸跡 (第199図)

E-19グリッドに位置する。第329号土壌を切っていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系陶器皿(17C前半)の小破片が出土している。

第60号井戸跡 (第199図)

E・F-20グリッドに位置する。第17号溝跡に切られている。

遺物は出土しなかった。

第61号井戸跡 (第199・212図)

G-16グリッドに位置する。第10号周溝状遺構と第333・334号土壌を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

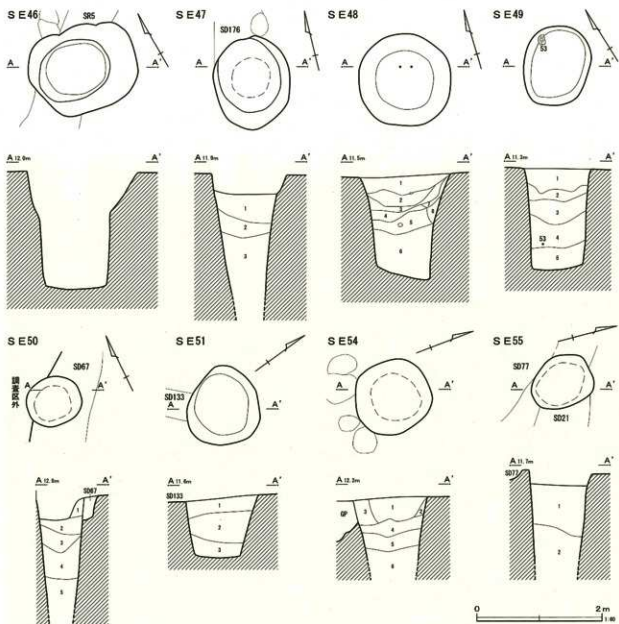
中・近世の石白2点(144・145)が出土した。**第62号井戸跡** (第200・212図)

D・E-17・18グリッドに位置する。危険防止のため、完掘には至らなかった。

土器5点(146～150)が出土した。

第63号井戸跡 (第200・212・217図)

E-19グリッドに位置する。第4号性格不明遺構を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。



SE47

- 1 暗褐色土 灰褐色粘土粒(2.0~4.0cm)、褐色粘土粒(0.5~0.7cm)多
埋戻し土
- 2 暗褐色土 灰褐色粘土粒(1.0~2.0cm)、褐色粘土粒(0.2~0.5cm)少
- 3 暗褐色土 灰褐色粘土粒(0.5cm)微量 有機物含む

SE48

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少 埋戻し土
- 2 緑灰色土 灰褐色土ブロック(2.0~3.0cm)多 埋戻し土
- 3 黄灰色土 緑灰色粘土ブロック(1.0cm)多
- 4 緑灰色土 黄灰色粘土ブロック(1.0cm)少
- 5 灰色粘土 黄灰色土との混土層 埋戻し土
- 6 灰褐色土 黄灰色土(2.0~3.0cm)多 埋戻し土
- 7 黄褐色土 褐色粘土との混土層
- 8 黄褐色土 崩落したブロック層

SE49

- 1 暗褐色土 黄灰色粘土ブロック(0.5~0.8cm)を均質に少
- 2 暗褐色土 黄灰色土 黄灰色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
- 3 黄灰色土 黄灰色粘土ブロック(1.0cm)少
- 4 暗褐色土 緑灰色粘土ブロック(1.0~2.0cm)を均質に少
- 5 暗褐色土 緑灰色シルト(2.0~3.0cm)を均質に少

SE50

- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5~0.8cm)、黄褐色粘土粒(0.7~1.5cm)多 埋戻し土
- 2 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.5cm)多 黄褐色粘土粒(0.5~1.0cm)やや多
黒色土ブロック(1.0cm)微量
- 3 暗褐色土 褐色粘土粒(1.0~2.0cm)やや多 黒色土ブロック(1.0cm)微量
- 4 暗褐色土 青緑色粘土粒(0.5~3.0cm)やや多 黒色土ブロック(0.2cm)少
粘性強
- 5 暗褐色土 青緑色粘土粒(1.0~5.0cm)やや多 粘性強

SE51

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm)少
- 2 黄褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm)少 黒色土ブロック(1.0cm)微量
- 3 暗褐色土 青緑色粘土粒(3.0cm)少

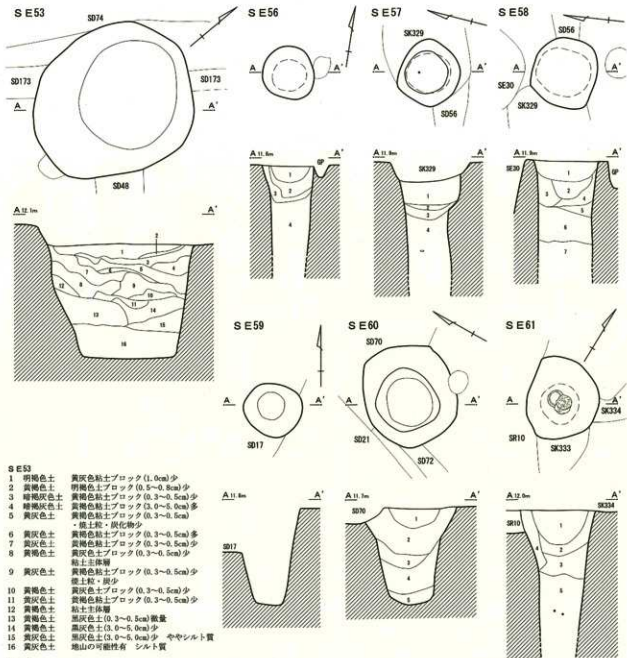
SE54

- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.4cm)微量 脆土粒(0.2cm)、炭化物少
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5~0.8cm)やや多
- 3 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.5~1.5cm)やや多 黒色土ブロック(0.7cm)微量
- 4 暗褐色土 黄褐色粘土粒(2.0~5.0cm)多 褐色粘土粒(1.0cm)やや多 埋戻し土
- 5 暗褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~2.0cm)微量 黒色土ブロック(0.5~1.0cm)少 砂質
- 6 暗褐色土 黒色土ブロック(0.5~1.0cm)微量 砂質

SE55

- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0~3.0cm)少 埋戻し土
- 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0~3.0cm)少

第198図 井戸跡(8)



- SE53**
- 1 明褐色土 黄灰色粘土ブロック(1.0cm)少
 - 2 黄褐色土 明褐色土ブロック(0.5~0.8cm)少
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 0cm)多
 - 5 黄灰色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm) - 粘土粒・炭化物少
 - 6 黄灰色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)多
 - 7 黄灰色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少
 - 8 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少
 - 9 黄灰色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少 粘土土層弱
 - 10 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少
 - 11 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 5cm)少
 - 12 黄褐色土 粘土土層弱
 - 13 黄褐色土 黄褐色土(0.3~0.5, 5cm)少量
 - 14 黄褐色土 黄褐色土(0.3~0.5, 0cm)少
 - 15 黄褐色土 黄褐色土(0.3~0.5, 0cm)少 ややシルト質
 - 16 黄褐色土 地山の可能性有 シルト質

- SE56**
- 1 原褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 0cm)多 硬灰土
 - 2 原褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 0cm)少
 - 3 原褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5, 0cm)少
 - 4 原褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0~2.0, 0cm)少

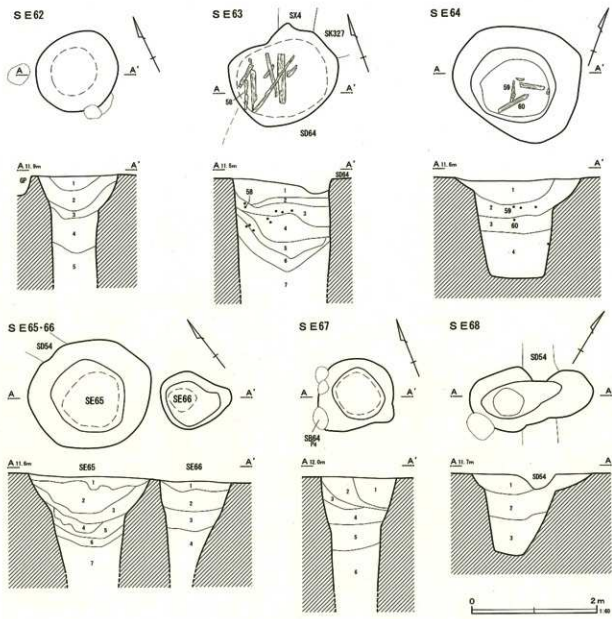
- SE57**
- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5~0.8cm)やや多
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.5, 5cm)少 酸化土
 - 3 暗褐色土 青緑色粘土粒(1.0cm)やや多
 - 4 暗褐色土 青緑色粘土粒(1.0~6, 0cm)やや多

- SE58**
- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5~1.0cm)多
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~1.0cm)少 黄褐色粘土粒(1.0cm)少
 - 3 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.5, 5cm)少 灰褐色粘土粒(0.5~2.0, 0cm)多
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5cm)少量
 - 5 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~1.0cm)・黄褐色粘土粒(1.0cm)多
 - 6 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~1.0cm)・灰褐色粘土粒(0.5~2.0, 0cm)多
 - 7 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~2.0, 0cm)少量 灰褐色粘土粒(1.0~5.0, 0cm)多
 - 8 暗褐色土 灰褐色粘土粒(1.0~3.0, 0cm)少

- SE60**
- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.1~0.5, 5cm)やや多 粘土粒(0.5cm)少量
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(0.1~1.5, 5cm)少
 - 3 暗褐色土 褐色粘土粒(0.2~0.5, 5cm)多 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
 - 4 暗褐色土 褐色粘土粒(1.0cm)少量
 - 5 暗褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~3, 0cm)やや多 粘性強

- SE61**
- 1 褐色土 黄褐色粘土粒(0.5cm)やや多 粘土粒(0.1~0.2, 0cm)・炭化物(0.1~0.2, 0cm)少
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5cm)・粘土粒(0.2~0.5, 5cm)少量
 - 3 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5cm)少
 - 4 暗褐色土 原褐色土ブロック(2, 0cm)多
 - 5 暗褐色土 黄褐色土ブロック(1.0~2.0, 0cm)やや多
 - 6 暗褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~3, 0cm)少 有機物多

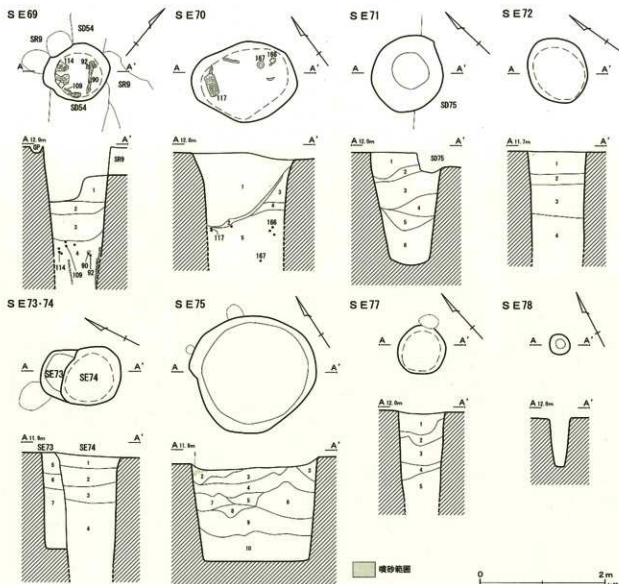
第199図 井戸跡(9)



- SE62**
- 1 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5cm)多 塵土粒(0.5cm)少
 - 2 暗褐色土 褐色粘土粒(1.0~2.0cm)多
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土粒(2.0~5.0cm)多
 - 4 灰褐色土 青绿色粘土粒(1.0~3.0cm)多
 - 5 暗褐色土 青绿色粘土粒(1.0~3.0cm)や中多 有機物多
- SE63**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~4.0cm)多
 - 2 暗褐色土 暗褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少 埋戻し土
 - 3 灰褐色土 黄褐色粘土粒(1.0~5.0cm)多
 - 4 暗褐色土 暗褐色土ブロック(0.5~0.8cm)少 埋戻し土
 - 5 暗褐色土 青绿色粘土粒(1.0~3.0cm)や中多
 - 6 青灰色粘土 灰褐色土粒(1.0~3.0cm)や中多 粘性強
 - 7 暗褐色土 褐色粘土粒(1.0~3.0cm)少 粘性強
 - 8 灰褐色粘土 黄褐色粘土粒(1.0~3.0cm)多 粘性強
- SE64**
- 1 暗褐色土 粘土粒・炭化物粒(0.1cm)少
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.3cm)少
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.8cm)多

- SE65**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)均質に少
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)多
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.8~1.0cm)少量
 - 4 黄褐色土 暗褐色土上の層に層
 - 5 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(2.0~3.0cm)多
 - 6 灰褐色土 暗褐色土ブロック多
 - 7 黄褐色土 6層より層
- SE66**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.2~0.3cm)少量
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)少
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)均質に少
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(2.0~3.0cm)少量
- SE67**
- 1 暗褐色土 灰褐色粘土粒(0.2~0.5cm)少
 - 2 暗褐色土 灰褐色粘土粒(0.2~1.5cm)や中多 褐色粘土粒(0.2~0.8cm)や中多
 - 3 暗褐色土 褐色粘土粒(0.5cm)少量
 - 4 暗褐色土 灰褐色粘土粒(0.4~0.4cm)多
 - 5 暗褐色土 青绿色粘土粒(2.0cm)少 褐色粘土粒(0.2~0.5cm)少
 - 6 暗褐色土 暗褐色土ブロック(1.0cm)少量
- SE68**
- 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.8~1.0cm)均質に少
 - 2 暗褐色土 黄褐色粘土粒・粘土粒(0.2~0.3cm)少量
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.4cm)少

第200図 井戸跡 (10)



- SE69**
- 1 明褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多 埋戻し土
 - 2 緑灰色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多 埋戻し土
 - 3 淡緑灰色土 褐色土ブロック(2.0~3.0cm)少 埋戻し土
 - 4 暗褐色土 緑灰色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多

- SE70**
- 1 淡褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多 埋戻し土
 - 2 褐色土 炭化物(0.2~0.3cm)少
 - 3 淡褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)多 埋戻し土
 - 4 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
 - 5 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少 有機物多

- SE71**
- 1 褐色土 黄褐色粘土粒(0.2~0.3cm)少量 雑土粒少
 - 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)との混土层 埋戻し土
 - 3 黄褐色土 褐色土との混土层 埋戻し土
 - 4 褐色土 黄褐色土ブロック(1.0cm)均質に少
 - 5 暗褐色土 黄褐色土ブロック(1.0cm)少
 - 6 黄褐色土 5層との混土层

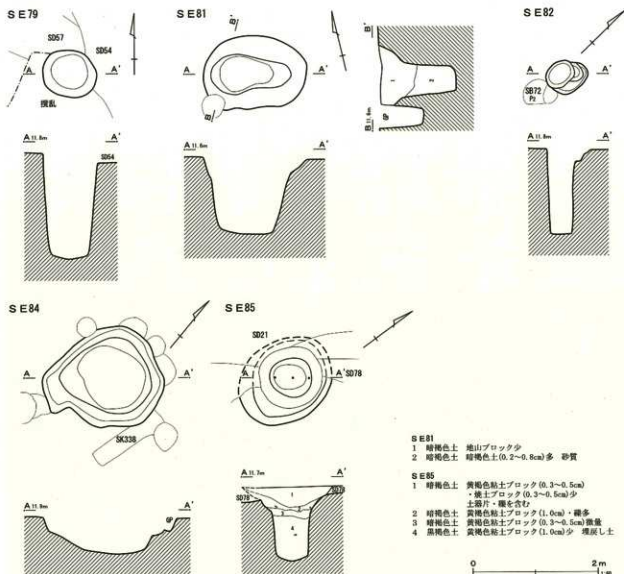
- SE72**
- 1 灰褐色土 炭化物(0.2~0.3cm)少
 - 2 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
 - 3 褐色土 灰色粘土ブロック(1.0cm)多
 - 4 暗褐色土 緑灰色粘土ブロック(2.0~3.0cm)多

- SE73-74**
- 1 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)多 埋戻し土
 - 2 褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)多 埋戻し土
 - 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
 - 4 暗褐色土 淡緑灰色粘土ブロック(1.0cm)多
 - 5 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)少
 - 6 淡褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5~0.8cm)少量
 - 7 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(3.0~5.0cm)多

- SE75**
- 1 黄褐色土 粘土層 地山
 - 2 黄褐色土 灰褐色土ブロック(0.5~0.8cm)状に少
 - 3 灰褐色土 褐色粘土ブロック(1.0cm)少量
 - 4 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)、砂粒多
 - 5 黄褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少
 - 6 黄褐色土 褐色土(1.0cm)少
 - 7 黄褐色土 灰褐色土(1.0cm)少
 - 8 灰褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.5cm)少
 - 9 緑灰色土 灰褐色土(2.0~3.0cm)少
 - 10 黄褐色土 黄褐色土(2.0~3.0cm)多

- SE77**
- 1 褐色土 灰褐色粘土粒(1.0~2.0cm)多 褐色土粒(0.5cm)中や多
 - 2 褐色土 黄褐色粘土粒(2.0~3.0cm)多
 - 3 褐色土 褐色土粒(2.0~3.0cm)中や多 黒色土ブロック(0.5~1.5cm)少量
 - 4 暗褐色土 褐色土粒(1.0~2.0cm)多
 - 5 暗褐色土 褐色土粒(1.0cm)少 有機物多

第201図 井戸跡(11)



第202図 井戸跡 (12)

鉄製品 (151) と木製品 (58) が1点ずつ出土した。中・近世と推定される。

第64号井戸跡 (第200・213・217・218図)

F・G-18グリッドに位置する。重複遺構はない。

土師器・陶器など7点 (152~158) と木製品2点 (59・60) が出土した。中・近世と推定される。

第65号井戸跡 (第200図)

G-18グリッドに位置する。第65号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第66号井戸跡 (第200図)

G-18グリッドに位置する。重複遺構はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第67号井戸跡 (第200・213・218図)

D-17グリッドに位置する。第64号掘立柱建物跡P2に切られていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

かわらけ (159)・陶器皿 (160)・木製品 (61) が1点ずつ出土した。中・近世と推定される。

第68号井戸跡 (第200・213図)

F-17・18グリッドに位置する。第54号溝跡

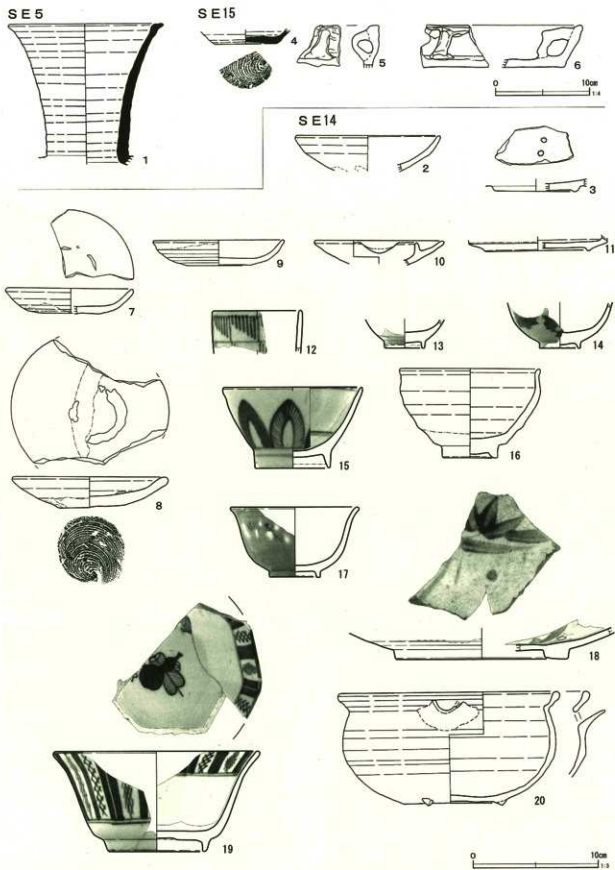
- SE81
 1 暗褐色土 地山ブロック少
 2 暗褐色土 暗褐色土(0.2~0.8cm)多 砂質
- SE85
 1 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)
 ・黄土ブロック(0.3~0.5cm)少
 土層が、層を含む
 2 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)・礫多
 3 暗褐色土 黄褐色粘土ブロック(0.3~0.5cm)微量
 4 黒褐色土 黄褐色粘土ブロック(1.0cm)少 埋戻し土

0 2m
 1:100

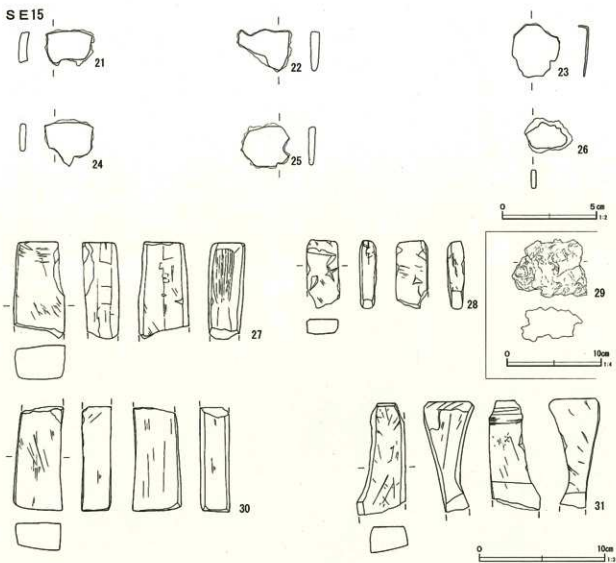
第25表 井戸跡計測表

遺構	区	グリッド	確認面 (cm)	底面または最下面 (cm)	深さ (cm)
SE2	C	I-9	67×63	31×28	173
SE3	C	J-9	54×50	25×22	90
SE4	C	J-8	42×45	27×26	155
SE5	C	M-6	155×139	41×43	190
SE6	C	N-5	48×42	28×26	156
SE7	C	O-4	60×56	46×45	[98]
SE8	C	M-5	36×31	25×22	157
SE9	C	M-5	35×34	20×19	80
SE10	C	N-5	45×43	20×80	115
SE11	A	B-21	112×110	82×78	100
SE12	A	A-20	175×148	126×104	165
SE13	A	A・B-20	126×118	88×84	219
SE14	A	A・B-20	95×92	78×75	162
SE15	A	B-21	203×180	166×145	145
SE16	A	B-20	82×73	76×63	153
SE17	A	C-18 D-18・19	247×245	208×204	[50]
SE18	A	C-21	378×335	255×215	[215]
SE19	A	E-18	297×297	275×265	[90]
SE20	A	D-18	121×119	82×70	195
SE21	A	F・G-17	305×230	82×76	207
SE22	A	D-17	[190]×164	75×66	173
SE23	A	D-17	180×153	75×75	195
SE24	A	D-20	65×65	35×33	120
SE25	A	F-17・18	151×142	90×75	[160]
SE26	A	F・G-17	155×145	85×80	[165]
SE27	A	D-17	165×156	82×78	192
SE28	A	F-17	150×133	79×70	[203]
SE29	A	D-16・17	265×246	120×120	[192]
SE30	A	E-16・17	159×159	110×105	189
SE31	A	F-15・16	195×180	111×92	263
SE32	A	D・E-20	394×287	88×79	180
SE33	A	F-15	160×157	106×95	120
SE34	A	C-20	91×81	82×75	109
SE35	A	G-17	171×153	110×100	[150]
SE36	A	G-16・17	255×246	126×120	210
SE37	A	D-16・17	180×152	80×60	209
SE38	A	D-17	197×153	111×87	[110]
SE39	A	D・E-18	231×182	108×122	[190]
SE40	A	F-19	191×152	115×85	140
SE41	A	F-19	108×99	79×75	204
SE42	A	F-18	149×120	74×65	201
SE43	A	C-19	197×194	104×92	212
SE44	A	B-17	300×[180]	95×[80]	[208]
SE45	A	C-18	131×105	131×105	[210]
SE46	A	E-18	170×139	95×79	185

遺構	区	グリッド	確認面 (cm)	底面または最下面 (cm)	深さ (cm)
SE47	A	E-19	144×122	62×59	[190]
SE48	A	E-15・16	146×146	95×92	165
SE49	A	E-13	130×105	112×80	160
SE50	A	C-16	89×76	60×52	[188]
SE51	A	D-16	125×115	95×85	95
SE52	A	D-17	[64]×76	29×26	195
SE53	A	C-17	272×237	172×150	182
SE54	A	C-18	120×120	78×75	[100]
SE55	A	D-20	100×81	80×61	[143]
SE56	A	E-18	88×85	52×52	[142]
SE57	A	E・F-16	65×64	65×64	[175]
SE58	A	E・F-16	109×101	86×71	[150]
SE59	A	E-19	92×83	42×42	152
SE60	A	E・F-20	161×145	96×69	151
SE61	A	G-16	130×[115]	62×61	[195]
SE62	A	D・E-17・18	135×123	75×72	[163]
SE63	A	E-19	172×132	145×115	[155]
SE64	A	F・G-18	202×170	110×92	154
SE65	A	G-18	199×173	88×82	[145]
SE66	A	G-18	110×93	44×35	[135]
SE67	A	D-17	112×133	65×60	[182]
SE68	A	F-17・18	195×100	50×43	125
SE69	A	D-16	105×95	75×70	[130]
SE70	A	E・F-16	167×127	114×101	[115]
SE71	A	G-16	125×112	55×60	178
SE72	A	G-17	107×95	92×73	[152]
SE73	A	F・G-17	81×[35]	56×[60]	152
SE74	A	G-17	109×87	82×70	[172]
SE75	A	D-17・18	190×195	162×162	155
SE76	A	G-17	[139]×153	100×95	[150]
SE77	A	D-17	75×75	61×56	[132]
SE78	A	F-17	33×32	15×15	75
SE79	A	F-17	87×75	60×55	165
SE80	A	F・G-17	85×79	72×65	142
SE81	A	G-17	163×116	86×54	120
SE82	A	E-18	66×55	40×30	135
SE84	A	E-18	189×159	96×99	55
SE85	A	E-20	[160]×[125]	51×50	116
SE89	C	L・M-7	36×32	17×20	120
SE90	C	K-8	62×58	21×21	128
SE91	C	K-7	75×66	46×42	102
SE92	C	L-6	70×65	47×40	122
SE93	C	L-6	63×53	30×32	147
SE94	C	K-11	75×63	51×35	[85]
SE95	C	L-6	85×80	38×35	138



第203図 井戸跡出土遺物(1)



第204図 井戸跡出土遺物(2)

に切られていると判断した。危険防止のため、完掘には至らなかった。

須恵器の壺1点(161)が出土した。

第69号井戸跡(第201・213・218～221図)

D-16グリッドに位置する。第9号周溝状遺構、第54号溝跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

多数の遺物が出土したが、そのうち図化できた遺物は陶器・鉄製品など3点(162～164)と木製品53点(62～114)である。図化には至らなかったが、肥前系京焼風陶器碗(17C後葉)の小破片が出土している。中・近世の井戸跡と推定される。

第70号井戸跡(第201・213・222図)

E-16グリッドに位置する。重複遺構はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。

土器など3点(165～167)と木製品4点(115～118)が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第71号井戸跡(第201図)

G-16グリッドに位置する。第75号溝跡に切られている。

遺物は出土しなかった。

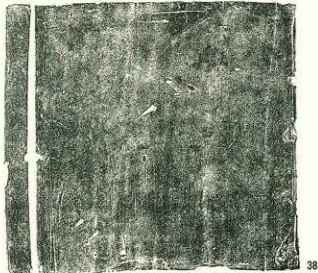
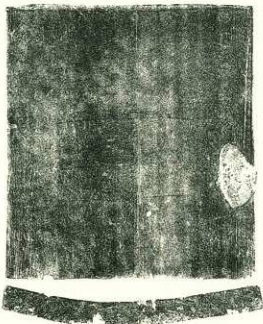
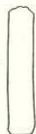
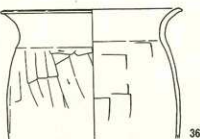
第72号井戸跡(第201図)

G-17グリッドに位置する。重複遺構はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。

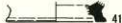
SE 16



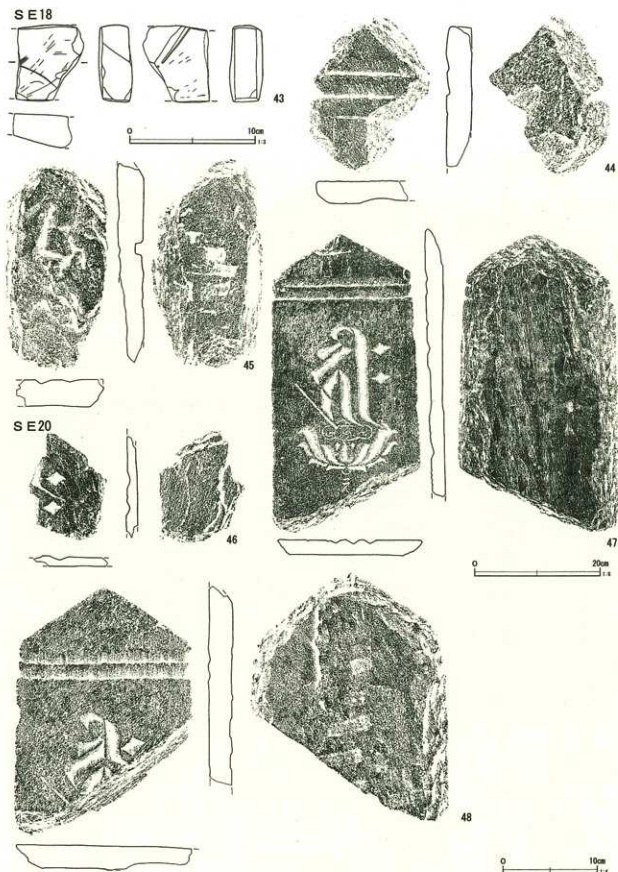
SE 17



SE 18



第205図 井戸跡出土遺物(3)



第206図 井戸跡出土遺物(4)

SE 22



49



50



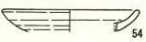
51



52



53

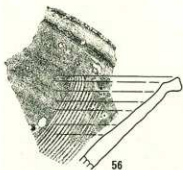


54



55

SE 27



56



57



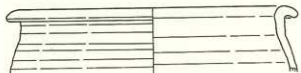
58



59



60



61

SE 29



64



65



66



67



68



69



70



71



71



62

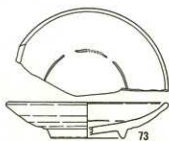
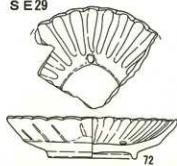


63

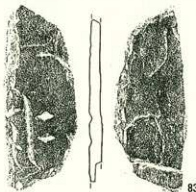
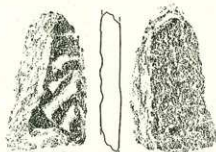
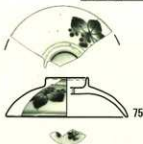
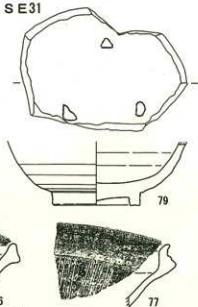


第207図 井戸跡出土遺物 (5)

SE29



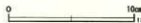
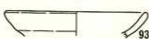
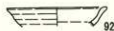
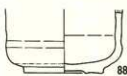
SE31



SE32

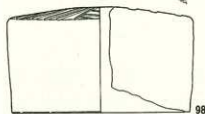
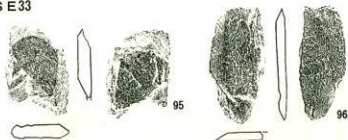


SE33

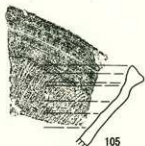


第208図 井戸跡出土物(6)

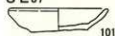
SE33



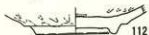
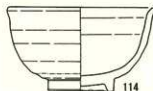
SE36



SE37

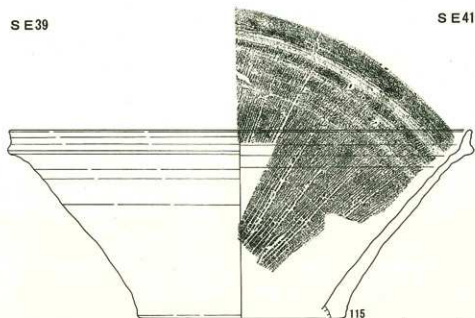


SE39

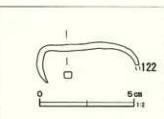


第209図 井戸跡出土遺物(7)

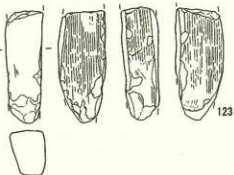
SE39



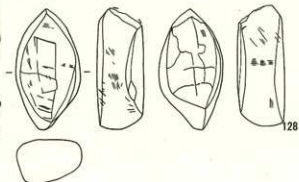
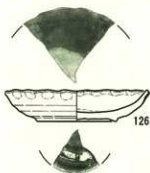
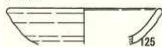
SE41



SE43

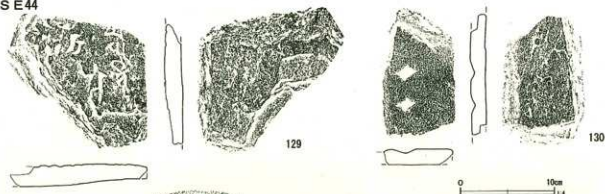


SE44

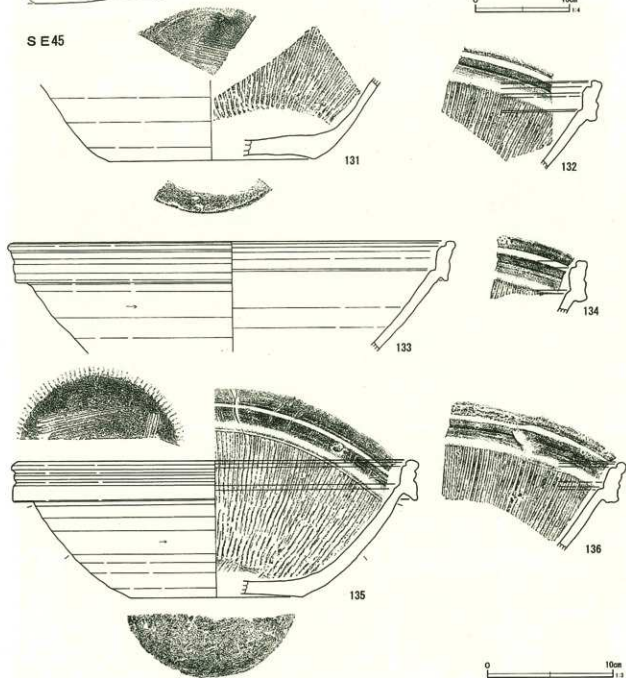


第210图 井戸跡出土遺物(8)

SE44

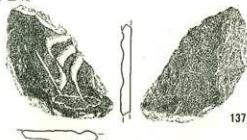


SE45



第211図 井戸跡出土遺物 (9)

S E 48



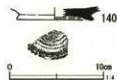
S E 52



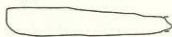
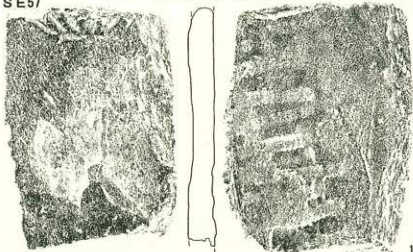
S E 53



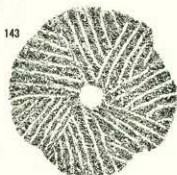
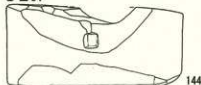
S E 54



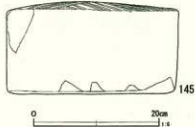
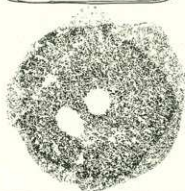
S E 57



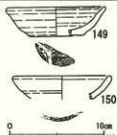
S E 61



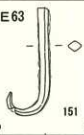
S E 55



S E 62

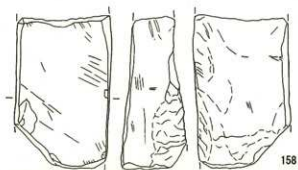
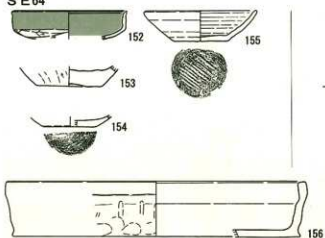


S E 63



第212図 井戸跡出土遺物 (10)

SE64



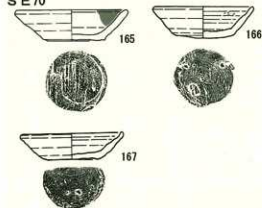
SE67



SE68



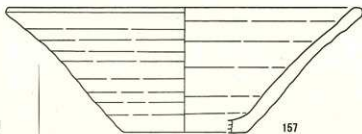
SE70



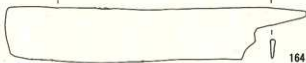
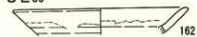
SE89



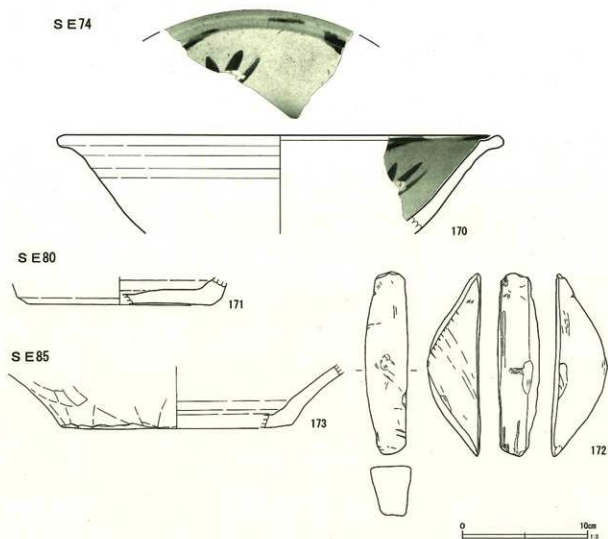
SE92



SE69



第213図 井戸跡出土遺物 (11)



第214図 井戸跡出土遺物 (12)

第26表 井戸跡出土遺物観察表

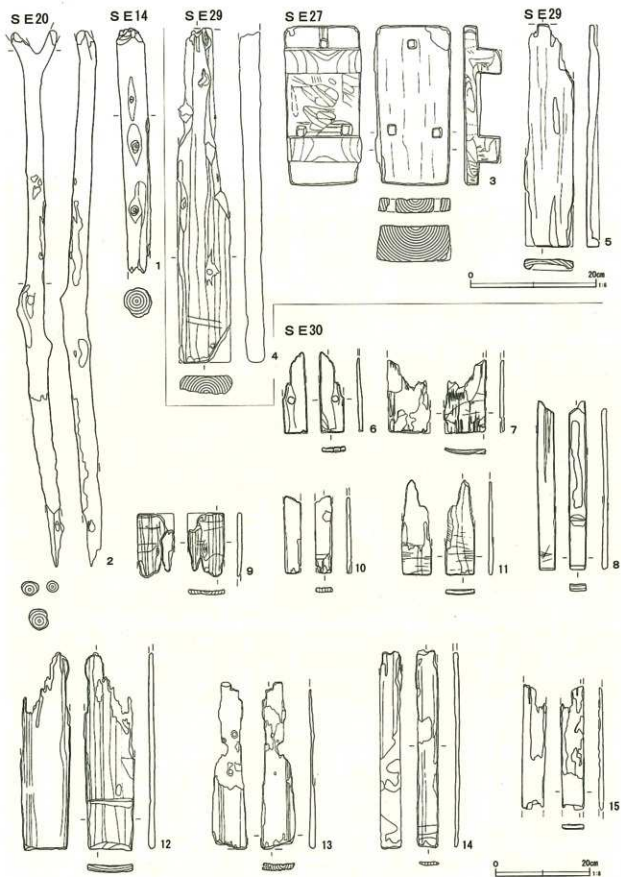
番号	遺構	区別	種別	器種	南方位 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
1	SE5	C	須恵器	長頸壺	90	15.9		[15.0]	A H J	良好	灰 暗灰	轆轤	轆轤流し 南北企産
2	SE14	A	陶器	皿	10	(11.4)		[2.8]	A	良好	灰	轆轤	灰輪 瀬戸・美濃系 18C 後半か
3	SE14	A	陶器	皿	40		(6.5)	[1.0]	A G	普通	灰白	轆轤	内面灰輪 貼付け高台 見込みノ跡 瀬戸・美濃系 18C 代か
4	SE15	A	須恵器	坏	25		(6.4)	[2.6]	A G H	普通	灰	轆轤	底部回転糸切り難し
5	SE15	A	土器	焙烙	5			[4.5]	A G	普通	灰黄褐		外面煤付着
6	SE15	A	土器	焙烙	5			4.5	A G	普通	褐灰		
7	SE15	A	陶器	灯明皿	30	(9.9)	(4.8)	1.9	G	普通	灰	轆轤	鉄輪 見込み・底部(外)輪トチ跡 瀬戸・美濃系 18C 後～19C 中葉
8	SE15	A	陶器	皿	65	12.4	5.3	2.4	A C F G	良好	灰白 砂粒 微量	轆轤	灰輪 質人多 見込み輪トチ跡(胎土付着) 口縁(外面)重ね痕(胎土付着) 外面煤付着 二次的被熱か 古瀬戸 15C 末～16C 初
9	SE15	A	陶器	灯明皿	20	(10.2)	(5.0)	2.0	A	普通	灰白	轆轤	鉄輪 底部輪トチ跡 瀬戸・美濃系 18C 後半～19C 中葉
10	SE15	A	陶器	灯明 受皿	20	(10.2)		[1.9]	G	良好	灰白	轆轤	内面灰輪 質人多 外面無輪 油漬半月状 外面煤付 着 二次的被熱 瀬戸・美濃系 19C 前半 台付か
11	SE15	A	陶器	香炉	20		(8.2)	[1.1]	A G	良好	浅黄	轆轤	灰輪 顔出し高台 瀬戸・美濃系 18C 後半か
12	SE15	A	磁器	碗	30	(7.0)		[3.4]	G	良好	灰白 微黄	轆轤	透明輪 内面二重圈線 肥前系 18C 後半 筒型

番号	通構	区別	種類	器種	容量 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考	
13	SE15	A	磁器	甕	55		3.0	[2.2]	G	良好	灰白	轆轤	透明釉 高台内輪軸 高台輪一重圍線 高台階二重圍線 削出し高台 畳付砂粒付着 肥前系 18C後半	
14	SE15	A	磁器	甕	35		(3.3)	[3.6]	G	良好	灰白	轆轤	透明釉 葎文か 高台内輪軸 削出し高台 見込み 砂粒付着 肥前系 18C後半	
15	SE15	A	磁器	甕	40	(10.9)	(5.8)	6.4	G	良好	灰白	轆轤	透明釉 貫入多 外面連弁文 削出し高台 瀬戸・美濃系 19C初頭 広東碗	
16	SE15	A	陶器	甕	70	(11.2)	4.4	7.0	A	良好	灰白	轆轤	鉄釉 見込み輪や磨減 削出し高台 瀬戸・美濃系 17C後半 大目焼	
17	SE15	A	陶器	甕	30	(10.2)	4.0	5.5	G	良好	灰黄	轆轤	透明釉・鉄釉 白化無土 削出し高台 畳付無輪 京・信楽系 19C前半	
18	SE15	A	陶器	皿	10		(13.6)	[2.4]	G	普通	灰黄	轆轤	灰釉 貫入多 爲須 鉄釉 見込み竹文・トチ跡1 削出し高台 畳付砂粒付着 瀬戸・美濃系 19C前半	
19	SE15	A	磁器	八角鉢	30	(16.0)	7.5	7.9	A G	良好	灰白	轆轤型打	透明釉 高台内輪軸 削出し高台 蛇目同形高台 見込み・ハマ跡か 高台内室道具跡 二次的焼熟 肥前系 18C中～後半	
20	SE15	A	陶器	行平鍋	80	(17.5)	(7.8)	8.7	G	良好	灰黄	轆轤	銅緑釉か 底面以外施釉 外面被熱のためか輪の遺存 度低い 肥前系 19C中葉	
21	SE15	A	鉄製品	刀子か		長さ [2.3] cm 重さ 4.8 g	幅 [1.6] cm	厚さ 0.4 cm					錆着しい	
22	SE15	A	鉄製品	刀子か		長さ [2.7] cm 重さ 4.7 g	幅 [2.0] cm	厚さ 0.4 cm					錆着しい	
23	SE15	A	鉄製品	鎌か		長さ [2.8] cm 重さ 5.4 g	幅 [2.5] cm	厚さ 0.1 cm					錆着しい	
24	SE15	A	鉄製品	刀子又は 鎌か		長さ [2.5] cm 重さ 4.7 g	幅 [2.2] cm	厚さ [0.3] cm					錆着しい	
25	SE15	A	鉄製品	刀子又は 鎌か		長さ [2.4] cm 重さ 5.2 g	幅 [2.1] cm	厚さ [0.3] cm					錆着しい	
26	SE15	A	鉄製品	刀子又は 鎌か		長さ [2.0] cm 重さ 3.1 g	幅 [1.4] cm	厚さ 0.2 cm					錆着しい	
27	SE15	A	石製品	碓石		長さ [7.6] cm 重さ 123.8 g	幅 4.0 cm	厚さ 2.6 cm					上下端部欠け口 他は4面とも使用 産地か 凝灰岩	
28	SE15	A	石製品	碓石		長さ [5.3] cm 重さ 22.7 g	幅 2.6 cm	厚さ 1.2 cm					欠損面以外(4面)使用 凝灰岩	
29	SE15	A	鉄製品	不明		長さ 5.8 cm 重さ 192.6 g	幅 7.7 cm	厚さ 3.3 cm					鉄滓か 比重が高い 錆着しい	
30	SE15	A	石製品	碓石		長さ [8.1] cm 重さ 119.4 g	幅 3.8 cm	厚さ 2.1 cm					欠損面以外の5面使用 鉄・マンガン付着 凝灰岩	
31	SE15	A	石製品	碓石		長さ [8.0] cm 重さ 102.9 g	幅 3.8 cm	厚さ 2.0 cm					粘板岩	
32	SE16	A	陶器	皿	10		(5.8)	[2.5]	B C	良好	灰白	轆轤	No.2 鉄釉 削出し高台 見込み蛇目輪刺ぎ・菊花瓣 印あり 重積跡 瀬戸・美濃系 18C後半～19C中葉	
33	SE16	A	須恵器	長頸瓶	40			[3.5]	A G	良好	灰	轆轤		
34	SE17	A	土師器	支脚	30		(7.3)	[3.2]	A C F G	普通	にぶい 橙		外面赤彩か 底部木炭痕 内外面とも風化顯著 調整痕強どなし	
35	SE17	A	土製品	支脚	65	上部径 4.3 cm 高さ [6.7] cm	幅 [7.0] cm		F	普通	浅黄			
36	SE17	A	土師器	甕	50	19.2		[13.7]	A B C D E F G	普通	明赤褐		旧 SD43 No.3	
37	SE17	A	軟質 陶器	平瓦	65	長さ [14.0] cm 幅 [15.0] cm	厚さ 2.8 cm		C D F	良好	灰茶褐			
38	SE17	A	軟質 陶器	平瓦	95	長さ 29.0 cm 厚さ 2.5 cm	幅 27.6 cm 谷深さ 2.2 cm		A G	普通	灰		やや砂質 井戸枠に転用	
39	SE18	A	須恵器	坏	20		(9.2)	[1.6]	A C G H	良好	灰		底部刷転糸切り難し後周辺へう割り	
40	SE18	A	須恵器	坏	100		6.2	[0.9]	A C G H	良好	灰		底部刷転糸切り難し後周辺へう割り	
41	SE18	A	須恵器	甕	40		(10.6)	[2.1]	C G H	良好	灰			
42	SE18	A	陶器	小碗	20	(5.8)			[3.5]	A G	良好	灰白	轆轤	灰釉 貫入多 瀬戸・美濃系 19C
43	SE18	A	石製品	碓石		長さ 8.1 cm 重さ 108.5 g	幅 [5.2] cm	厚さ 2.5 cm					欠け口以外の4面使用 鉄・マンガン付着 凝灰岩	
44	SE18	A	石製品	板碑		長さ [14.9] cm	幅 [9.6] cm	厚さ 2.7 cm					緑泥片岩	
45	SE18	A	石製品	板碑		長さ [21.0] cm	幅 [8.2] cm	厚さ 2.9 cm					緑泥片岩	
46	SE20	A	石製品	板碑		長さ [10.7] cm	幅 [7.8] cm	厚さ [1.6] cm					緑泥片岩	
47	SE20	A	石製品	板碑		長さ [43.5] cm	幅 23.2 cm	厚さ 2.9 cm					緑泥片岩	
48	SE20	A	石製品	板碑		長さ [21.0] cm	幅 [18.6] cm	厚さ 2.6 cm					緑泥片岩	
49	SE22	A	土師器	甕	40	(11.5)		[6.1]	A C D G	普通	灰黄		外面赤彩 内面調整・赤彩の有無不明 器面風化顯著	
50	SE22	A	土師器	高坏	90			[3.3]	A F G	良好	灰褐		外面へう磨き	
51	SE22	A	石製品	板碑		長さ [12.1] cm	幅 [10.8] cm	厚さ 1.3 cm					緑泥片岩	
52	SE22	A	陶器	皿	30	(12.0)	(7.3)	2.4	G	普通	灰白	轆轤	長石釉 気泡多 貫入有 畳付一部施釉 内面・口縁 一重圍線 見込み二重圍線・葎竹文・目跡1 削出し 高台 鉄絵 瀬戸・美濃系 志野 16C末～17C初頭	

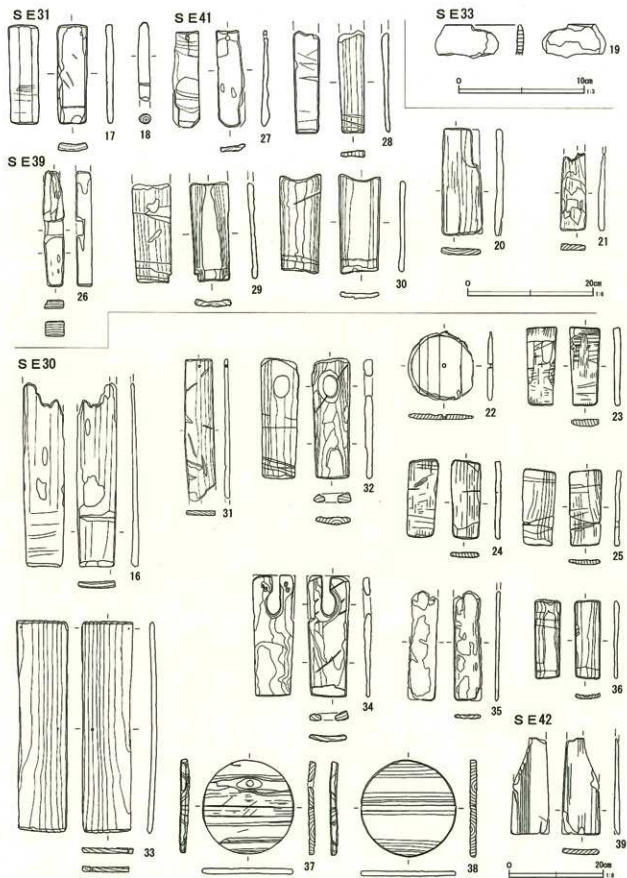
番号	造構	区別	種別	器種	存在率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型技法	備考
53	SE22	A	陶器	皿	10	(12.0)		[1.6]	E	良好	灰白	轆轤	長石軸 貫入・気泡多 口縁一重線 見込み二重線 背面(の内側)が黒褐色になっている 灯明皿に転用 瀬戸・美濃系 志野 16C末~17C初
54	SE22	A	陶器	皿	20	(10.9)		[1.7]	E	普通	灰白	轆轤	長石軸 貫入・気泡多 瀬戸・美濃系 志野か 16C末~17C初
55	SE22	A	陶器	鉢鉢	5			[3.6]	C G	良好	橙	轆轤	鉄軸 瀬戸・美濃系 18C後半
56	SE22	A	陶器	鉢鉢	5			[7.4]	A C G	良好	灰褐	轆轤	鉄軸 節目15本/条 瀬戸・美濃系 17C中頃か
57	SE27	A	陶器	皿	45	(13.7)	6.4	3.4	F G	良好	灰白	轆轤	灰軸 貫入多 梅文 高台内施軸 見込み一重線・五弁花文 掘絵 瀬戸・美濃系 18C後半
58	SE27	A	磁器	碗	10	(6.6)		[4.9]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明軸 外面口縁・高台一重線 桜花散らし 内面口縁二重線 肥前系 18C中~後半 高型
59	SE27	A	陶器	小环	15	(6.6)		[2.8]	F G	良好	灰白	轆轤	透明軸 瀬戸・美濃系 18C後~19C前
60	SE27	A	陶器	甕か	30	(9.4)	[2.4]	C F	F 良好	灰白	輪削	外面透明軸 貫入多 高台内施軸・砂粒付着 高台際一重線 預出し高台 瀬戸・美濃系 19C	
61	SE27	A	陶器	甕か	10	(21.0)		[5.1]	A G	良好	灰白 緻密	轆轤	鉄軸 瀬戸・美濃系 19C中葉
62	SE27	A	須恵器	环	40	(6.2)	[1.9]	A G H	不良	灰	轆轤	底部回転糸切り難し	
63	SE27	A	軟質陶器	平瓦	45	長さ26.5cm 厚さ2.0cm	幅[17.5]		A G F H	普通	灰		やや砂質
64	SE29	A	陶器	皿	20	(10.0)	(5.6)	1.9	A	普通	灰褐	轆轤	鉄軸 底部回転糸切り難し 二次的焼熱 瀬戸・美濃系 18C後半
65	SE29	A	陶器	皿	15		(7.8)	[1.1]	A G	普通	灰白	轆轤	内面長石軸 預出し高台 瀬戸・美濃系 17C前半
66	SE29	A	陶器	皿	5	(14.0)		[1.8]	G	普通	灰白	轆轤	透明軸 貫入あり 肥前系か 18C代か
67	SE29	A	磁器	皿	15	(13.8)		[1.4]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	灰軸 内面松文 肥前系 17C後半
68	SE29	A	陶器	皿	50		5.2	[1.4]	A G	普通	灰黄	轆轤	内面銅線軸 見込み蛇目軸測ぎ 登付目跡1 預出し高台 肥前系(内野山) 17C後半~18C前半
69	SE29	A	磁器	碗	70		4.2	[2.6]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	青磁 預出し高台 二次的焼熱 肥前系 18C前~中か
70	SE29	A	陶器	菊皿	5			[2.8]	A	普通	灰白	轆轤 型打	灰軸 貫入多 緑軸流し掛け 瀬戸・美濃系 17C
71	SE29	A	土器	焙烙	5			[5.8]	A B D G	普通	灰白	輪削	
72	SE29	A	陶器	菊皿	25	(13.4)	(7.0)	3.2	A F G	良好	灰白	轆轤 型打	灰軸 貫入多 預出し高台 見込み円縁ピン跡 瀬戸・美濃系 17C前半
73	SE29	A	陶器	皿	40	(13.0)	(5.8)	2.9	A C F	良好	灰白 緻密	轆轤	灰軸 預出し高台 見込み重線跡(高台の端部付着) 登付軸付着 瀬戸・美濃系 17C後半
74	SE29	A	陶器	碗	50		4.7	[4.1]	G	良好	灰白	轆轤	内面透明軸 貫入多 外面銅線軸 預出し高台 見込み砂粒付着 肥前系(内野山) 17C末~18C前半
75	SE29	A	磁器	蓋	25	(9.4)	幅み径(3.4)	3.1	G	良好	灰白	轆轤	透明軸 瀬戸・美濃系 19C前半 染付
76	SE29	A	陶器	鉢鉢	5			[4.8]	普通	にぶい 灰	轆轤	鉄軸 備前系か 18Cか	
77	SE29	A	陶器	鉢鉢	5			[5.0]	A C G	良好	灰	轆轤	鉄軸 節目6本/条 備前系か 18Cか
78	SE29	A	石製品	板碑		長さ[14.8]cm	幅[8.0]cm	厚さ2.2cm					緑泥片岩
79	SE31	A	陶器	鉢	60		7.0	[5.0]	A F G	良好	灰白	轆轤	内面・外面上半灰軸 貼付け高台 見込みトナリ跡3 瀬戸・美濃系 19C前半
80	SE31	A	土器	焙烙	5			6.0	A B F G	普通	明褐色		外面煤付着
81	SE31	A	土器	焙烙	5			6.2	A F	普通	灰白		外面煤付着多
82	SE31	A	土器	焙烙	5			6.2	A B F H	普通	橙		内外面煤付着
83	SE31	A	石製品	板碑		長さ[17.1]cm	幅[7.6]cm	厚さ1.3cm					緑泥片岩
84	SE32	A	土師器	环	25	(11.8)		[2.9]	A F G	普通	赤褐		旧SE2 内面・外面口縁部赤彩 内外面とも剥離激しく調整不明
85	SE32	A	土師器	环	25	(11.2)		[2.4]	A G	良好	にぶい 赤褐		旧SE2 内面・外面口縁部赤彩
86	SE32	A	須恵器	环	25	(6.0)	[0.9]	A C G H	良好	灰	轆轤	旧SE2 底部回転糸切り難し	
87	SE32	A	土師器	甕	80		6.6	[3.3]	A D F G	良好	にぶい 黄橙		旧SE2 No.1
88	SE32	A	陶器	香炉	30		6.3	[5.0]	A C F G	良好	灰白	轆轤	旧SE2 外面灰軸 貫入多 預出し高台 高台銅軸土目跡 瀬戸・美濃系 18C後半か
89	SE32	A	磁器	蟹油壺	95		3.3	[4.3]	G	良好	灰白 緻密	輪削	旧SE2 外面透明軸 高台内軸付着 預出し高台 登付砂粒付着 肥前系 18Cか
90	SE33	A	土器	焙烙	20	(32.8)	(32.1)	6.3	A B C F	普通	橙		
91	SE33	A	土器	かわらけ	15	(11.5)		[2.0]	A B C F G	普通	にぶい 橙	轆轤	
92	SE33	A	陶器	皿	10	(8.0)		[1.5]	F	良好	灰白	轆轤	灰軸 貫入多 瀬戸・美濃系 18C中葉か
93	SE33	A	陶器	皿	10	(11.2)		[2.0]	A F G	良好	灰白	轆轤	灰軸 貫入多 瀬戸・美濃系 18C前半か

番号	通称	区別	種別	器種	積存率 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型技法	備考	
94	SE33	A	石製品	砥石		長さ18.7cm 重さ222.2g		幅6.0cm	厚さ3.4cm				凝灰岩	
95	SE33	A	石製品	板碑		長さ7.4cm		幅6.1cm	厚さ1.6cm				緑泥片岩	
96	SE33	A	石製品	板碑		長さ11.8cm		幅4.9cm	厚さ0.9cm				緑泥片岩	
97	SE33	A	石製品	石臼(下)		長さ14.3cm		厚さ6.3cm					安山岩	
98	SE33	A	石製品	石臼(下)	50	径31.2cm 厚さ13.1cm		軸穴径(4.4)cm					表面ほぼ一面タル状付着物あり 目立て6分割 安山岩	
99	SE33	A	石製品	石臼(上)	25	長さ16.6cm		厚さ11.7cm					安山岩	
100	SE36	A	磁器	碗	15		(6.0)	(0.8)	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 高台内施釉 高台際一面磨削 見込み二重 強厚・草花文 削出し高台 貫付砂粒付着 肥前系 18C代か	
101	SE37	A	土器	かわらけ	80	10.7	6.0	2.3	A C F G	普通	橙	轆轤	底部回転糸切り履しか 器面風化顕著	
102	SE37	A	土器	かわらけ	60	(10.2)	6.0	2.7	A B F	不良	浅黄橙	轆轤	底部回転糸切り履しか	
103	SE37	A	土器	かわらけ	70	11.1	5.8	2.6	A D F G	普通	浅黄橙	轆轤	底部回転糸切り履しか	
104	SE37	A	土師器	鉢	25	(18.0)		[4.7]	A C F G	普通	にぶい 橙	轆轤	内面・外面口縁部赤彩	
105	SE37	A	陶器	播鉢	5		[6.5]		A C G	普通	にぶい 橙	轆轤	鉄釉 節目6本/条 備前系か 18C	
106	SE39	A	陶器	碗	30		(7.0)	[1.5]	A G	良好	灰	轆轤	釉消滅か 鉄粒 見込み竹文 貼付け高台 二次的被熱 貫付着 瀬戸・美濃系 17C中葉	
107	SE39	A	土器	かわらけ	25		(5.4)	[1.6]	H	普通	橙	轆轤	焼締 底部回転糸切り履しか	
108	SE39	A	土器	焼結	5			5.9	A F G	普通	にぶい 黄橙			
109	SE39	A	土器	焼結	85 (7.7)	(5.7)	9.0	A G H	普通		にぶい 橙	取作り 成形	旧SD79 №1 内面布目痕 深彫輪 蓋あり 体部頸印一重付 堺湾伊織 18C前葉～中葉	
110	SE39	A	陶器	皿	20	(14.7)	(9.2)	2.8	D F G	普通	灰白	轆轤	灰釉 貫入多 削出し高台 底部磨削へう割付 瀬戸・美濃系 17C前葉	
111	SE39	A	陶器	皿	15		(8.0)	[1.4]	A G	良好	灰白	轆轤	内面灰釉 貫入多 削出し高台 瀬戸・美濃系 17C中葉 菊皿	
112	SE39	A	陶器	皿	40		(6.4)	[2.2]	A G	良好	灰黄	轆轤	灰釉 貫入多 削出し高台 見込みトナリ跡2 瀬戸・美濃系 17C代 菊皿	
113	SE39	A	陶器	小杯	70		2.6	[3.5]	A G	良好	灰白	轆轤	灰釉 削出し高台 見込み砂粒付着 肥前系 19C中葉	
114	SE39	A	陶器	碗	40	(11.6)	5.2	6.6	D F G	良好	灰白	轆轤	鉄釉 腰部漆黒輪流し掛けか 削出し高台 瀬戸・美濃系 17C後半	
115	SE39	A	陶器	播鉢	20	(37.0)	(16.5)	14.8	A G	良好	暗赤褐	輪積か	節目7本/条 節目の磨滅比較顕著	
116	SE41	A	陶器	皿	75		5.8	[1.4]	A G	良好	灰白	轆轤	灰釉 貫入多 高台内施釉 貼付け高台 二次的被 熱 貫付着 瀬戸・美濃系 18C中～後半	
117	SE41	A	陶器	碗	30		(5.0)	[2.6]	A F	良好	灰白	轆轤	灰釉 貫入多 削出し高台 高台内刻印「榮」 肥前系 17C後葉 室伏風陶器	
118	SE41	A	磁器	碗	70		3.5	[3.3]	G	良好	灰白	轆轤	透明釉 丸須 高台内施釉・大明年製 か 削出し高台 貫付砂粒付着 肥前系 18C後半	
119	SE41	A	磁器	碗	60		4.6	[2.9]	G	良好	灰白 緻密	轆轤	透明釉 高台内施釉・大明年製 削出し高台 貫付砂粒付着 肥前系 18C前～中葉	
120	SE41	A	陶器	播鉢	5		[5.1]		A C F G J	普通	灰褐	轆轤か	鉄釉 節目7本/条 信楽系か 18C	
121	SE41	A	石製品	石鉢		厚さ4.7cm							安山岩	
122	SE41	A	鉄製品	鍔か		長さ5.4cm 重さ3.8g		幅0.4cm	厚さ0.3cm					
123	SE41	A	石製品	砥石		長さ9.0cm 重さ135.0g		幅2.8cm	厚さ3.7cm					摩目か (3面に残る) 使用の度合いは低い 凝灰岩
124	SE43	A	陶器	播鉢	5			[3.1]	A F G	普通	浅黄橙	轆轤	鉄釉 節目10本/条 瀬戸・美濃系 19C前葉	
125	SE44	A	陶器	皿	10	(12.3)		[2.9]	F G	普通	灰白	轆轤	長石釉 貫入多 瀬戸・美濃系 17C前葉	
126	SE44	A	陶器	輪花皿	20	(11.4)	(6.3)	2.5	G	普通	にぶい 黄橙	轆轤	鉄釉・漆黒釉か 貫付・高台内施釉 見込み輪割り 削出し高台 高台内輪トナリ跡 瀬戸・美濃系 16C後半	
127	SE44	A	陶器	輪花皿	60	12.1	7.1	3.2	A C G	普通	浅黄	轆轤	鉄釉 見込み輪割り 口縁内外面・高台内輪トナリ 付着 瀬戸・美濃系 16C後半	
128	SE44	A	石製品	砥石		長さ9.5cm 重さ202.2g		幅5.1cm	厚さ3.4cm					剥離部分多い面有 凝灰岩
129	SE44	A	石製品	板碑		長さ12.5cm		幅14.4cm	厚さ2.2cm					緑泥片岩
130	SE44	A	石製品	板碑		長さ13.7cm		幅7.4cm	厚さ1.6cm					緑泥片岩
131	SE45	A	陶器	播鉢	20		(16.2)	[6.3]	A F G	良好	にぶい 赤褐	輪積か	内面鉄葉か 節目6本/条 底面焼台跡 堺系 18C	
132	SE45	A	陶器	播鉢	5		[6.9]		C F G	良好	灰赤	轆轤	焼締 堺系か 18C中～後半	
133	SE45	A	陶器	播鉢	5	(35.6)		[8.6]	C D G	良好	灰赤	轆轤	№4 焼締 (内面鉄葉か) 節目9本/条 堺系か 18C中～後葉	
134	SE45	A	陶器	播鉢	5		[4.2]		A C D	良好	暗赤褐	轆轤	内面鉄釉 外面体部サビ輪 節目は深く太いもので 鮮明 堺系か 18C中～後葉	

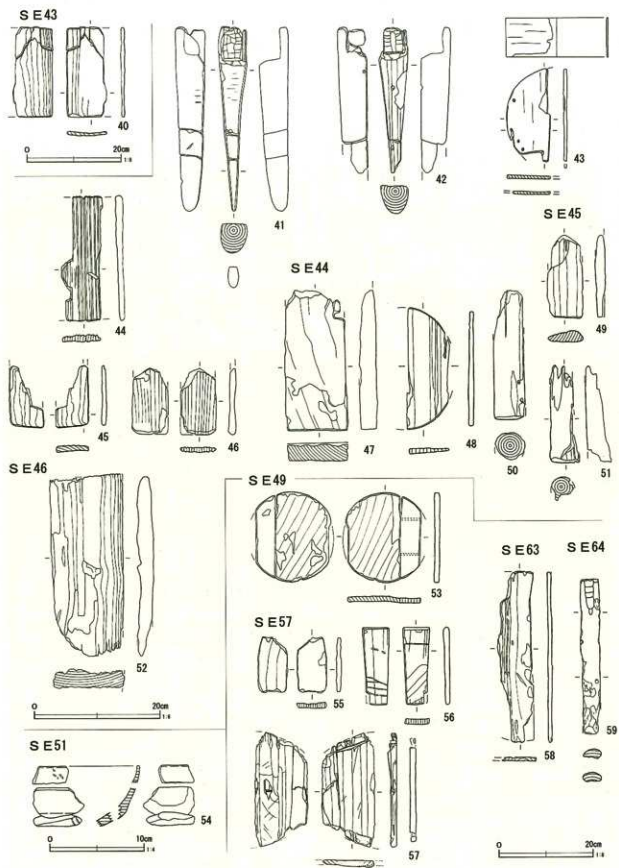
番号	通稱	区別	種別	器種	容量 (%)	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	胎土	焼成	色調	成型 技法	備考
135	SE45	A	陶器	罐鉢	40	(32.0)	(13.8)	10.8	A C F G	良好	赤橙	轆轤	№1 焼締 節目10本/条 (左回転) 底面に焼台跡 厚系 18C 中～後半
136	SE45	A	陶器	罐鉢	5			[7.1]	A C G	良好	灰赤	轆轤	№3 焼締 節目9本/条 厚系か 18C 中～後半
137	SE48	A	石製品	板碑		長さ9.7cm	幅8.1cm	厚さ1.2cm					緑泥片岩
138	SE52	A	須恵器	環	90		12.0	[0.9]	A C G H	良好	灰	轆轤	底部回転へう削り
139	SE53	A	土師器	壺	40		(6.4)	[3.5]	A F G	普通	にぶい 黄橙		器面風化顯著
140	SE54	A	須恵器	高台付 環か	20		(8.2)	[1.4]	A C H	普通	灰	轆轤	
141	SE54	A	陶器	皿	20	(12.0)	(7.6)	2.1	A	普通	灰白	轆轤	長石軸 鉄絵 畳付・高台内施軸 見込み蘭竹文 削出し高台 見込み・高台内門襷ピン跡 瀬戸・美濃系 志野 16C 末～17C 初期
142	SE55	A	石製品	石白 (下)	15	長さ12.5cm	幅14.9cm	厚さ9.7cm					安山岩
143	SE57	A	石製品	板碑		長さ16.3cm	幅17.6cm	厚さ3.0cm					緑泥片岩
144	SE61	A	石製品	石白 (上)		径28.4cm 厚さ中央6.7cm 軸穴径3.6cm 注入口径4.2cm 横打込口 高さ2.5cm 幅2.3cm							ほぼ完成 注入口・横打込口がぼぼ残されている 軸穴は貫通していない 裏面は使用により磨耗して いる 安山岩
145	SE61	A	石製品	石白 (下)		径27.4cm 厚さ14.6cm 軸穴径3.8cm							ほぼ完成 目立て7分割 使用のため上面滑らか 煤付着(部分的)
146	SE62	A	土器	かわら け	60	10.2	7.0	2.6	B C D F	普通	灰白	轆轤	底部回転糸切り難し
147	SE62	A	土器	かわら け	100	10.5	6.2	2.6	A B F G	普通	にぶい 黄橙	轆轤	底部回転糸切り難し
148	SE62	A	土器	かわら け	55	(10.6)	(5.6)	2.4	A B F	普通	灰白	轆轤	底部回転糸切り難し
149	SE62	A	土器	かわら け	20	(10.6)	(6.1)	3.1	A B C F G	普通	灰黄	轆轤	底部回転糸切り難し
150	SE62	A	土器	皿	20	(10.6)		[2.4]	A B F	普通	褐灰	轆轤	
151	SE63	A	鉄製品	不明		長さ55.7cm 重さ8.4g	幅2.4cm	厚さ0.6cm					釣り下げ用具か 断面菱形
152	SE64	A	土師器	環	20	(12.2)		[3.1]	A B C F G	良好	赤褐		内面・外面口縁部赤彩
153	SE64	A	土師器	壺	60		(7.0)	[2.1]	A C D F G	普通	灰黄		
154	SE64	A	土器	かわら け	40		(6.0)	[1.2]	F G	普通	にぶい 黄橙	轆轤	底部回転糸切り難し
155	SE64	A	土師器	環	45	(12.0)	5.8	3.2	A C D F G	普通	橙	轆轤	底部回転糸切り難し後へう削り 二次的被熱
156	SE64	A	土器	焙烙	20	(31.8)	(30.4)	5.9	A B C G	普通	黄灰	輪轆	煤付着
157	SE64	A	陶器	鉢	30	(28.2)	(9.6)	9.9	B E F	不良	黒灰	轆轤	被熱 二次的被熱 外面一部赤色化
158	SE64	A	石製品	砥石		長さ112.0cm 重さ618.4g	幅7.4cm	厚さ5.0cm					使用は3面 安山岩
159	SE67	A	土器	かわら け	40		(6.0)	[2.8]	D F	普通	にぶい 黄橙	轆轤	底部回転へう削り
160	SE67	A	陶器	皿	30		(7.6)	[1.8]	G	良好	灰白	轆轤	長石軸 鉄絵 蘭竹文 貼付け高台 瀬戸・美濃系 志野 16C 末～17C 初期
161	SE68	A	須恵器	壺	10	(24.8)		[3.1]	A C H	良好	灰	轆轤	4本単位の彫造波状文
162	SE69	A	陶器	皿	20	(13.8)		[2.0]	C F	普通	灰	轆轤	灰輪 見込み蛇目輪割ぎ 瀬戸・美濃系 17C 代か
163	SE69	A	陶器	甕	20		(15.0)	[7.0]	A	良好	灰白	轆轤	鉄軸 底面施軸 ハケ塗り・トチ跡 二次的被熱 黒色化 瀬戸・美濃系 19C 代
164	SE69	A	鉄製品	包丁		長さ24.0cm 重さ73.2g	幅4.2cm	厚さ0.2cm					
165	SE70	A	土師質 須恵器	環	80	12.0	6.5	3.2	A B C F	良好	灰褐	轆轤	油煙付着 灯明皿に転用 底部回転糸切り難し後へう削り
166	SE70	A	土器	かわら け	95	10.8	5.9	3.3	D F G	普通	にぶい 橙	轆轤	№4 部分的に油煙付着 灯明皿に転用と思われる 底部回転糸切り難し
167	SE70	A	土器	かわら け	50	(10.8)	5.8	2.7	A F G	良好	橙	轆轤	№7 底部回転糸切り難し
168	SE89	C	土師器	環	20	(12.4)		[3.2]	A F G K	普通	橙		旧M-7G 赤彩
169	SE92	A	土師器	環	10	(16.0)		[3.2]	A B C	良好	赤褐		旧SK258 内外面赤彩
170	SE74	A	陶器	鉢	10	(35.0)		[7.7]	A C G	良好	灰白	轆轤	灰輪・御緑輪流し 草文 瀬戸・美濃系 17C 後葉 鉄軸鉢
171	SE80	A	陶器	甕	5		(14.6)	[2.2]	A G	良好	黄灰	轆轤	鉄軸 底面施軸 ハケ塗り・輪トチ跡 瀬戸・美濃系 19C 前半
172	SE80	A	石製品	砥石		長さ14.2cm 重さ194.8g	幅3.3cm	厚さ4.0cm					一部に鉄分・マンガン付着 凝灰岩
173	SE85	A	陶器	甕	20		(18.4)	[4.8]	A C D E F G	普通	灰褐		旧SK124 焼締



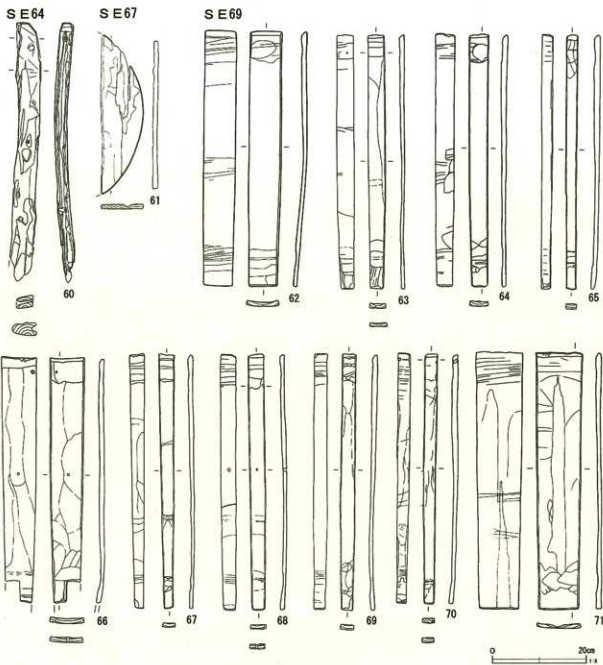
第215図 井戸跡出土木製品 (1)



第216図 井戸跡出土木製品(2)



第217図 井戸跡出土木製品 (3)



第218図 井戸跡出土木製品 (4)

図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系陶器皿 (17C代)、肥前系磁器碗 (18C前半か) が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第73号井戸跡 (第201図)

F・G-17グリッドに位置する。第74号井戸跡に切られている。

遺物は出土しなかった。

第74号井戸跡 (第201・214図)

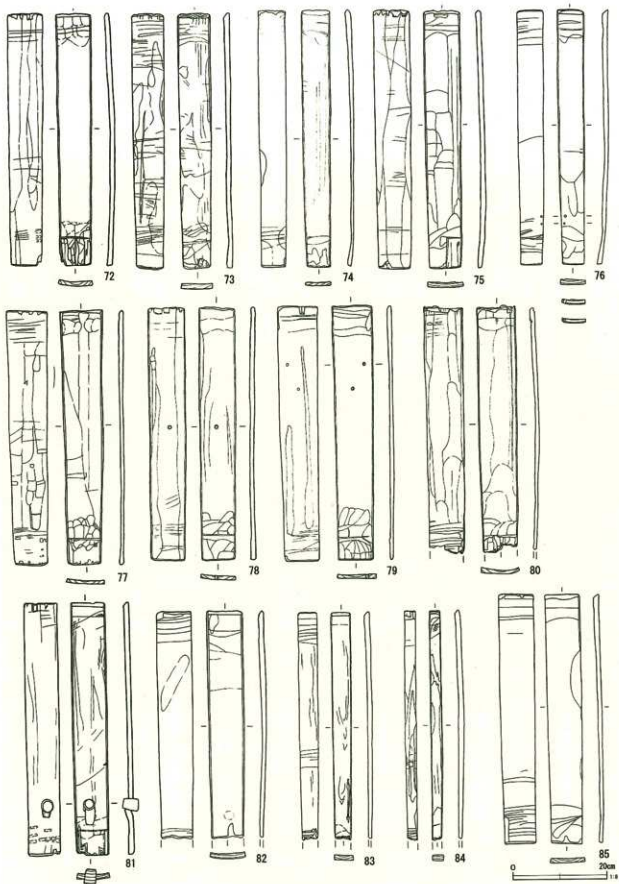
G-17グリッドに位置する。第73号井戸跡を切っている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

陶器鉢 (170) が出土した。近世と推定される。

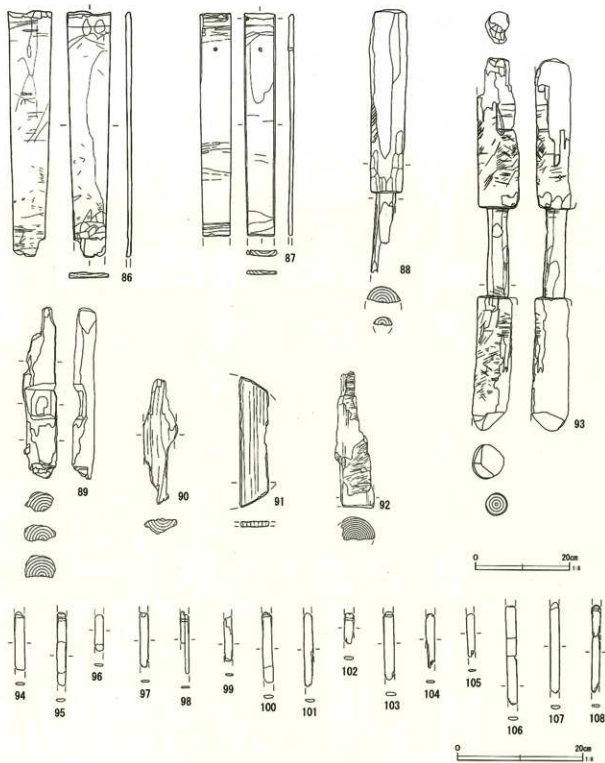
第75号井戸跡 (第201図)

D-17・18グリッドに位置する。ピットを切っていると判断した。

遺物は出土しなかった。



第219図 井戸跡出土木製品 (5)



第220図 井戸跡出土木製品 (6)

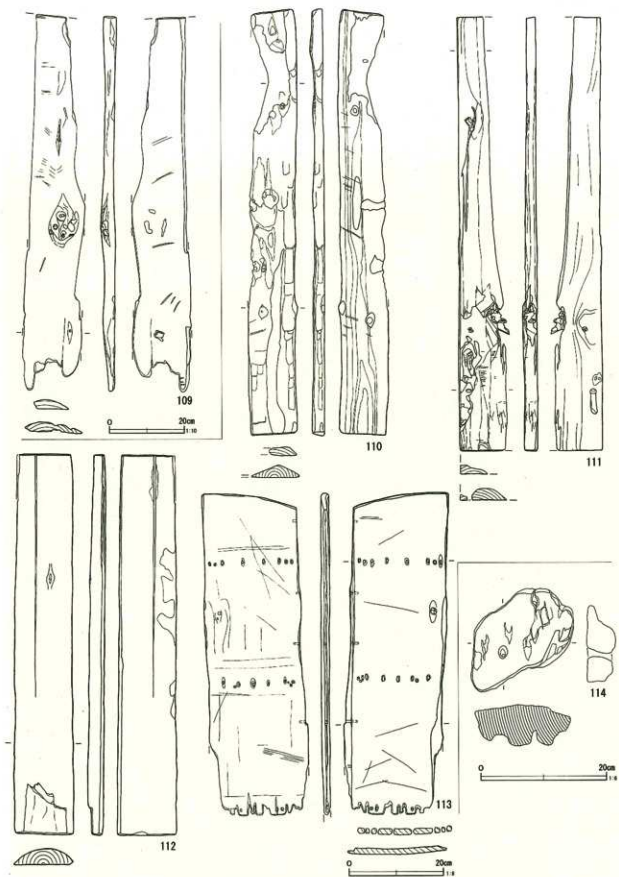
第76号井戸跡 (第196・222図)

G-17グリッドに位置する。第36号井戸跡に切られている。危険防止のため、完掘には至らなかった。

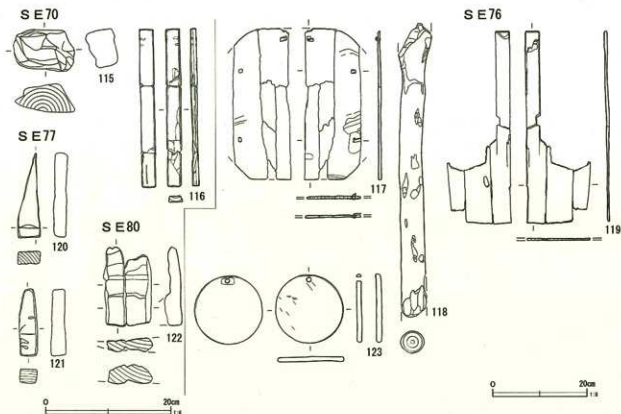
板材 (119) が出土した。中・近世と推定される。

第77号井戸跡 (第201・222図)

D-17グリッドに位置する。重複構造はない。危険防止のため、完掘には至らなかった。



第221图 井戸跡出土木製品(7)



第222図 井戸跡出土木製品(8)

第27表 井戸跡出土木製品観察表

番号	遺構	区別	器種	計測値(cm)	備考
1	SE14	A	枕	長さ[51.7] cm 幅6.0cm 厚さ6.2cm	No1 先端加工 芯持丸木材
2	SE20	A	棒状 製品	長さ[113.9] cm 幅9.9cm 厚さ5.5cm	表皮あり 芯持丸木
3	SE27	A	下駄	長さ25.1cm 幅12.0cm 厚さ5.6cm	板目 芯持板目
4	SE29	A	板材	長さ52.4cm 幅8.7cm 厚さ3.1cm	No5 板目
5	SE29	A	板材	長さ35.0cm 幅7.8cm 厚さ1.5cm	No3 板目
6	SE30	A	側板	長さ[17.1] cm 幅4.9cm 厚さ1.0cm	栓は芯なし削り出し 板目
7	SE30	A	側板	長さ[15.5] cm 幅8.9cm 厚さ0.7cm	板目
8	SE30	A	側板	長さ[35.3] cm 幅[3.8] cm 厚さ1.3cm	板目
9	SE30	A	側板	長さ[13.6] cm 幅7.7cm 厚さ0.8cm	板目
10	SE30	A	側板	長さ[16.6] cm 幅3.6cm 厚さ0.9cm	板目
11	SE30	A	側板	長さ[20.3] cm 幅5.2cm 厚さ1.4cm	板目
12	SE30	A	側板	長さ[41.5] cm 幅10.3cm 厚さ1.4cm	板目
13	SE30	A	側板	長さ[35.2] cm 幅[7.1] cm 厚さ1.4cm	板目
14	SE30	A	側板	長さ[41.8] cm 幅[4.7] cm 厚さ1.0cm	板目
15	SE30	A	側板	長さ[26.5] cm 幅5.0cm 厚さ1.0cm	板目
16	SE30	A	側板	長さ[38.5] cm 幅8.4cm 厚さ1.3cm	板目
17	SE31	A	側板	長さ15.8cm 幅4.8cm 厚さ1.2cm	築版転用か 板目
18	SE31	A	不明	長さ[12.4] cm 幅1.8cm 厚さ1.5cm	芯持丸木
19	SE33	A	漆桶	現存最大幅[5.0] cm 現存高 12.7 cm 現存厚さ[0.5] cm	横木取り 外面周塗 内面赤塗

番号	遺構	区別	器種	計測値(cm)	備考
20	SE33	A	板材	長さ16.9cm 幅6.3cm 厚さ1.2cm	板目
21	SE33	A	板材	長さ[12.3] cm 幅4.0cm 厚さ1.1cm	板目
22	SE33	A	底板	最大径(15.0) cm 厚さ1.1cm	木釘有 板目
23	SE33	A	側板	長さ16.7cm 幅6.3cm 厚さ1.5cm	板目
24	SE33	A	側板	長さ16.5cm 幅6.2cm 厚さ1.2cm	板目
25	SE33	A	側板	長さ16.3cm 幅6.9cm 厚さ1.0cm	全面炭化 板目
26	SE39	A	部材	長さ[18.2] cm 幅3.3cm 厚さ2.5cm	板目
27	SE41	A	側板	長さ15.3cm 幅4.2cm 厚さ1.1cm	下層 板目
28	SE41	A	側板	長さ[16.2] cm 幅4.1cm 厚さ1.1cm	下層 板目
29	SE41	A	側板	長さ[15.9] cm 幅6.2cm 厚さ1.1cm	下層 板目
30	SE41	A	側板	長さ15.8cm 幅6.5cm 厚さ0.8cm	板目
31	SE41	A	板材	長さ[29.9] cm 幅6.2cm 厚さ1.0cm	下層 板目
32	SE41	A	側板	長さ25.4cm 幅8.0cm 厚さ2.0cm	下層 桶 板目
33	SE41	A	側板	長さ44.6cm 幅10.8cm 厚さ1.0cm	下層 桶 板目
34	SE41	A	側板	長さ25.6cm 幅8.5cm 厚さ1.7cm	転用材か 板目
35	SE41	A	側板	長さ[23.1] cm 幅5.8cm 厚さ0.8cm	下層 板目
36	SE41	A	側板	長さ[16.5] cm 幅5.5cm 厚さ1.1cm	桶 板目
37	SE41	A	底板	最大径20.2cm 厚さ1.4cm	桶 板目 木釘で2枚を接着
38	SE41	A	底板	最大径20.9cm 厚さ1.3cm	桶 板目

番号	造構	区別	器種	計測値 (cm)	備考
39	SE42	A	側板	長さ 20.6 cm 幅 7.9 cm 厚さ 1.1 cm	追板目
40	SE43	A	側板	長さ 19.4 cm 幅 8.4 cm 厚さ 0.8 cm	一部炭化あり 板目
41	SE43	A	器具か	長さ 29.1 cm 幅 4.4 cm 厚さ 4.5 cm	塗料付着 芯なし削り出し
42	SE43	A	器具か	長さ 23.0 cm 幅 4.6 cm 厚さ 4.5 cm	No3 木刀か 芯なし削り出し
43	SE43	A	側板	長さ 36.2 cm 幅 6.2 cm 厚さ 0.2 cm	No2 板目
			底板	最大径 16.0 cm 厚さ 0.5 cm	曲物 裏面に全面的 に炭化あり
44	SE43	A	板材	長さ 19.8 cm 幅 6.0 cm 厚さ 1.3 cm	No1 板目
45	SE43	A	側板	長さ 19.7 cm 幅 5.3 cm 厚さ 1.0 cm	板目
46	SE43	A	板材	長さ 11.0 cm 幅 5.6 cm 厚さ 0.8 cm	板目
47	SE44	A	板材	長さ 22.3 cm 幅 9.7 cm 厚さ 2.8 cm	追板目
48	SE44	A	底板	最大径 19.5 cm 厚さ 0.8 cm	板目
49	SE45	A	板状 製品	長さ 13.0 cm 幅 5.7 cm 厚さ 1.8 cm	追板目
50	SE45	A	不明	長さ 20.4 cm 幅 4.8 cm 厚さ 4.2 cm	芯持丸木
51	SE45	A	棒状 製品	長さ 15.4 cm 幅 4.7 cm 厚さ 2.9 cm	芯持丸木
52	SE46	A	板材	長さ 28.2 cm 幅 11.5 cm 厚さ 2.8 cm	板目
53	SE49	A	底板	最大径 19.0 cm 厚さ 1.1 cm	No1 板目 2個体を つないで再判用
54	SE51	A	漆桶	現存最大幅 5.4 cm 現存高(合算) 14.0 cm 現存厚さ 10.9 cm	外面黒漆 内面赤漆 横木取り
55	SE57	A	不明	長さ 11.6 cm 幅 6.3 cm 厚さ 1.2 cm	板目
56	SE57	A	側板	長さ 16.4 cm 幅 5.6 cm 厚さ 1.2 cm	板目
57	SE57	A	底板	最大径 24.0 cm 厚さ 1.3 cm	釘2本 板目
58	SE63	A	底板	長さ 36.3 cm 幅 7.2 cm 厚さ 0.8 cm	No6 板目
59	SE64	A	板材	長さ 33.0 cm 幅 4.0 cm 厚さ 1.8 cm	No2 板目
60	SE64	A	不明	長さ 34.9 cm 幅 5.3 cm 厚さ 2.7 cm	No1 平割
61	SE67	A	底板	長さ 33.5 cm 幅 8.8 cm 厚さ 1.1 cm	板目
62	SE69	A	側板	長さ 53.3 cm 幅 6.7 cm 厚さ 0.9 cm	桶板目
63	SE69	A	側板	長さ 53.7 cm 幅 3.6 cm 厚さ 1.0 cm	板目
64	SE69	A	側板	長さ 53.4 cm 幅 4.0 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
65	SE69	A	側板	長さ 53.2 cm 幅 2.3 cm 厚さ 1.3 cm	桶板目
66	SE69	A	側板	長さ 52.4 cm 幅 7.4 cm 厚さ 1.1 cm	木釘あり(2ヶ所) 板目
67	SE69	A	側板	長さ 53.0 cm 幅 3.2 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
68	SE69	A	側板	長さ 53.2 cm 幅 3.3 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
69	SE69	A	側板	長さ 53.4 cm 幅 3.0 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
70	SE69	A	側板	長さ 52.1 cm 幅 2.6 cm 厚さ 1.2 cm	桶板目
71	SE69	A	側板	長さ 53.3 cm 幅 9.8 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
72	SE69	A	側板	長さ 52.9 cm 幅 7.3 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
73	SE69	A	側板	長さ 53.7 cm 幅 6.8 cm 厚さ 1.2 cm	桶板目
74	SE69	A	側板	長さ 53.6 cm 幅 5.9 cm 厚さ 1.2 cm	桶板目
75	SE69	A	側板	長さ 53.7 cm 幅 7.7 cm 厚さ 1.0 cm	桶板目
76	SE69	A	側板	長さ 53.2 cm 幅 5.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
77	SE69	A	側板	長さ 53.1 cm 幅 8.8 cm 厚さ 0.8 cm	桶板目
78	SE69	A	側板	長さ 52.7 cm 幅 7.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板板目 木釘 芯なし削り出し

番号	造構	区別	器種	計測値 (cm)	備考
79	SE69	A	側板	長さ 53.0 cm 幅 8.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目 木釘の本 取り芯なし削り出し
80	SE69	A	側板	長さ 51.5 cm 幅 8.2 cm 厚さ 0.9 cm	桶板目
81	SE69	A	側板	長さ 53.2 cm 幅 7.2 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目板目 栓芯 なし削り出し
82	SE69	A	側板	長さ 47.6 cm 幅 7.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
83	SE69	A	側板	長さ 47.8 cm 幅 4.1 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
84	SE69	A	側板	長さ 48.2 cm 幅 2.4 cm 厚さ 1.2 cm	桶板目
85	SE69	A	側板	長さ 53.5 cm 幅 7.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
86	SE69	A	側板	長さ 51.6 cm 幅 9.4 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目
87	SE69	A	側板	長さ 48.0 cm 幅 6.5 cm 厚さ 1.1 cm	桶板目 釘あり
88	SE69	A	堅持	長さ 55.6 cm 幅 8.0 cm 厚さ 3.3 cm 断面1幅6.9 cm 厚さ 3.3 cm 断面2幅 4.0 cm 厚さ 1.7 cm	No17 平割
89	SE69	A	不明	長さ 36.1 cm 幅 6.9 cm 厚さ ①4.3 cm 断面②厚さ 4.0 cm 断面③厚さ 3.1 cm	平割
90	SE69	A	自然木 (流木)	長さ 26.6 cm 幅 7.1 cm 厚さ 3.2 cm	No1 芯持丸木
91	SE69	A	底板	最大径 27.3 cm 厚さ 0.9 cm	一箇 板目
92	SE69	A	部材	長さ 28.8 cm 幅 7.0 cm 厚さ 4.5 cm	No2 平割
93	SE69	A	件	長さ 78.4 cm 幅 8.6 cm 厚さ 7.7 cm 断面幅4.4 cm 厚さ 4.5 cm	No16 芯持丸木
94	SE69	A	たが	長さ 19.2 cm 幅 1.5 cm 厚さ 0.9 cm	
95	SE69	A	たが	長さ 11.6 cm 幅 1.4 cm 厚さ 0.7 cm	
96	SE69	A	たが	長さ 5.7 cm 幅 1.3 cm 厚さ 0.4 cm	
97	SE69	A	たが	長さ 8.5 cm 幅 1.3 cm 厚さ 0.4 cm	
98	SE69	A	たが	長さ 9.7 cm 幅 1.3 cm 厚さ 0.7 cm	
99	SE69	A	たが	長さ 7.0 cm 幅 1.2 cm 厚さ 0.3 cm	
100	SE69	A	たが	長さ 11.1 cm 幅 1.5 cm 厚さ 0.7 cm	
101	SE69	A	たが	長さ 11.5 cm 幅 1.4 cm 厚さ 0.5 cm	
102	SE69	A	たが	長さ 14.8 cm 幅 1.5 cm 厚さ 0.7 cm	
103	SE69	A	たが	長さ 10.7 cm 幅 1.5 cm 厚さ 0.8 cm	
104	SE69	A	たが	長さ 8.5 cm 幅 1.3 cm 厚さ 0.5 cm	
105	SE69	A	たが	長さ 6.8 cm 幅 1.2 cm 厚さ 0.5 cm	
106	SE69	A	たが	長さ 15.5 cm 幅 1.6 cm 厚さ 0.4 cm	
107	SE69	A	たが	長さ 14.2 cm 幅 1.4 cm 厚さ 0.5 cm	
108	SE69	A	たが	長さ 13.7 cm 幅 1.3 cm 厚さ 0.7 cm	
109	SE69	A	板材	長さ 100.6 cm 幅 15.6 cm 厚さ 3.4 cm	No3 板目
110	SE69	A	板材	長さ 91.1 cm 幅 10.4 cm 厚さ 2.9 cm	No9 表皮あり 側面一部炭化 割材
111	SE69	A	板材	長さ 92.7 cm 幅 10.8 cm 厚さ 3.0 cm	No20 板目
112	SE69	A	板材	長さ 80.5 cm 幅 12.6 cm 厚さ 3.3 cm	No21 表皮わずかに 炭化 板目
113	SE69	A	板材	長さ 68.2 cm 幅 20.8 cm 厚さ 1.2 cm	No19 穿孔あり 追板目
114	SE69	A	自然木	長さ 116.2 cm 幅 15.7 cm 厚さ 6.7 cm	No8 全面欠け 外面炭化 芯持丸木
115	SE70	A	不明	長さ 9.7 cm 幅 6.8 cm 厚さ 4.6 cm	平割
116	SE70	A	棒状 製品	長さ 25.3 cm 幅 2.3 cm 厚さ 1.0 cm	木釘2 穿孔2 板目
117	SE70	A	板材	長さ 32.4 cm 幅 12.0 cm 厚さ 0.9 cm	No1 曲物の底か 板目

番号	遺構	区別	器種	計測値 (cm)	備考
118	SE70	A	丸木材	長さ161.7cm 共径6.0cm×廻径4.8cm	表皮あり 両端切断
119	SE76	A	板材	長さ40.7cm 幅13.3cm 厚さ0.6cm	板目
120	SE77	A	角材	長さ13.3cm 幅3.6cm 厚さ1.3cm	割材
121	SE77	A	角材	長さ10.6cm 幅2.8cm 厚さ2.8cm	割材
122	SE80	A	角材	長さ12.7cm 幅7.6cm 厚さ12.8cm	板目
123	SE80	A	底板	最大径14.4cm 厚さ0.9cm	No.1 板目 表裏わからず

角材2点 (120・121) が出土した。

第78号井戸跡 (第201図)

F-17グリッドに位置する。重複遺構はない。
遺物は出土しなかった。

第79号井戸跡 (第202図)

F-17グリッドに位置する。第54・57号溝跡との新旧関係は確認できなかった。
遺物は出土しなかった。

第80号井戸跡 (第194・214・222図)

F-17グリッドに位置する。第21号井戸跡を切っていると判断した。

陶器甕 (171)・砥石 (172)、木製品 (122・123) が出土した。近世の井戸跡と推定される。

第81号井戸跡 (第202図)

G-17グリッドに位置する。ピットに切られている。

遺物は出土しなかった。

第82号井戸跡 (第202図)

E-18グリッドに位置する。ピットとの新旧関係は確認できなかった。

遺物は出土しなかった。

第84号井戸跡 (第202図)

E-18グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。深度が浅く、土壌の可能性もある。

遺物は出土しなかった。

第85号井戸跡 (第202・214図)

E-20グリッドに位置する。第78号溝跡より新しいが、第21号溝跡との新旧関係は確認できなかった。

陶器の甕1点 (173) が出土した。中・近世の井戸跡と推定される。

第89号井戸跡 (第191・213図)

L・M-7グリッドに位置する。第104号溝跡との新旧関係は確認できなかった。井戸の深度に比べ、平面規模の小さいタイプである。

土師器の坏1点 (168: 7世紀第2四半期) が出土した。

第90号井戸跡 (第191図)

K-8グリッドに位置する。重複遺構はない。井戸の深度に比べ平面規模が小さいタイプである。
遺物は出土しなかった。

第91号井戸跡 (第191図)

K-7グリッドに位置する。ピットを切り、第105号溝跡に切られていると判断した。
遺物は出土しなかった。しかし、他遺構との新旧関係から、6世紀第3四半期と推定される。

第92号井戸跡 (第191・213図)

L-6グリッドに位置する。重複遺構はない。
土師器の坏1点 (169: 6世紀第3四半期) が出土した。

第93号井戸跡 (第191図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。井戸の深度に比べ、平面規模が小さいタイプである。

遺物は出土しなかった。しかし、他遺構との新旧関係から、6世紀第2四半期と推定される。

第94号井戸跡 (第191図)

K-11グリッドに位置する。第8号溝跡に切られていると判断した。危険防止のため、完掘に至らなかった。

遺物は出土しなかった。

第95号井戸跡 (第191図)

L-6グリッドに位置する。第10号住居跡を切っている。

遺物は出土しなかった。しかし、他遺構との新旧関係から、6世紀第2四半期と推定される。

9. 溝跡

確認された溝跡は、A区92条（第1・16・17・21～26・28～48・28～32・34・35・37～46・48・50・51・54～57・59～62・64～81・83～93・97・98・133・157・159・160・162～169・172～183号溝跡）、B区7条（第122～128号溝跡）、C区53条（第2～15・18～20・99～114・116～121・129・130・132・141・143～147・150～154号溝跡）の計152条である。

第1号溝跡（第235・236・239・240・243～245・254図）

A-21・22、B・C-20・21、D・E-19・20、F-19グリッドに位置する。第1号性格不明遺構に切られ、第11号周溝状遺構と第40・62号溝跡を切っている。平面形は蛇行しながら、北東から南西へと延び、A区を縦断して、両端とも調査区外に続く。規模は、全長58.2m、上場幅1.00～2.80m、下場幅0.45～1.10m、深さ0.40～0.83m、断面形は概ね逆台形で、方位はN-24°-Eを指す。

出土遺物は、土師器・須恵器・石製品・陶磁器等である（1～60：9世紀第4四半期）。なお、図化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶磁器

（18～19C代）・肥前系磁器碗（18C代）が出土した。その他木製品9点（1～9）も出土した。

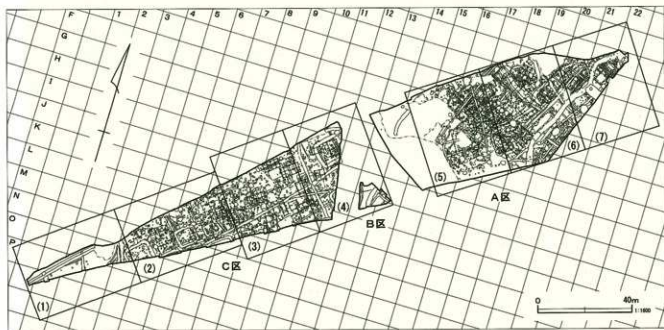
第2号溝跡（第230・231・245図）

G-11、H-10グリッドに位置する。中央部は攪乱を受けている。第276号土壇を切っていると推定されるが、第10号溝跡との新旧関係は確認できなかった。両端とも調査区外に続くと考えられる。平面形はほぼ直線状である。全長は、攪乱部分を含めて（14.90）m、上場幅1.05～1.45m、下場幅0.75～1.45m、深さ0.18～0.20m、断面形は概ね皿状である。方位はN-65°-Eを指す。

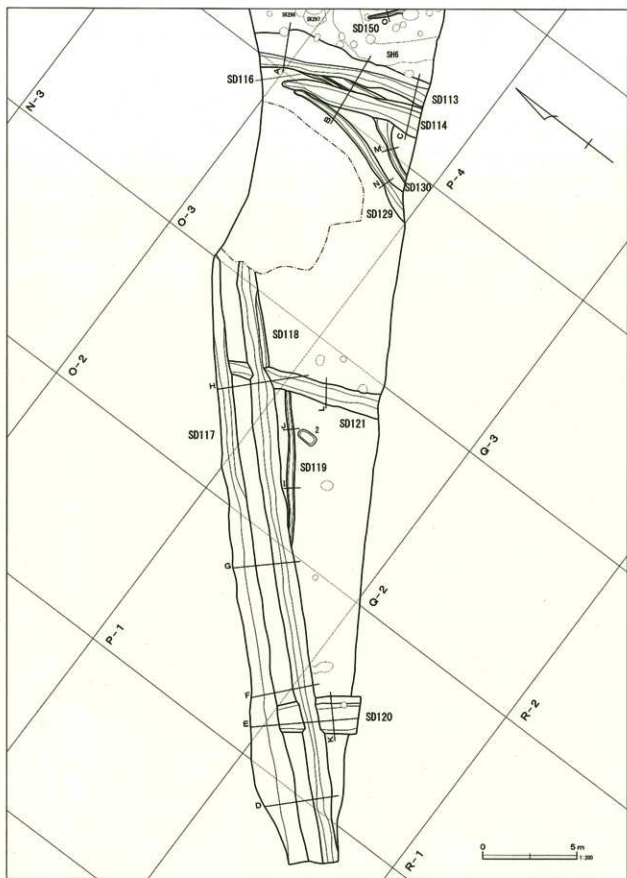
遺物は出土しなかった。他遺構との新旧関係から、9世紀第4四半期と推定される。

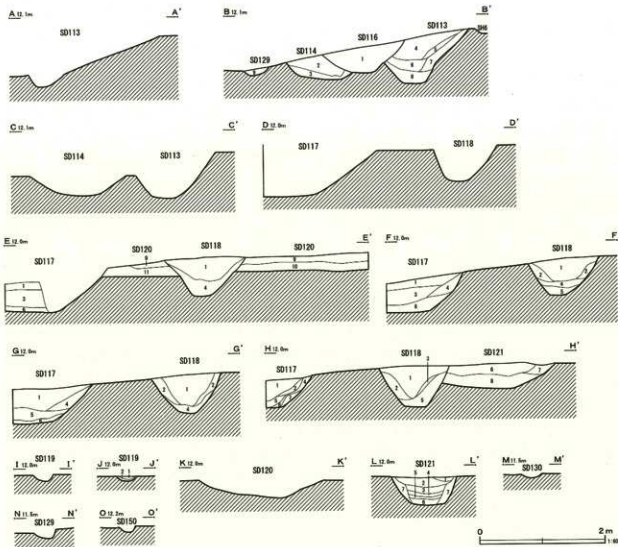
第3号溝跡（第230・231図）

H-10・11、I-11グリッドに位置する。第1号方形周溝墓を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。両端とも途切れている。平面形は直線状である。規模は、第1号方形周溝墓との重複部分を含めて全長8.20m、上場幅0.65～0.80m、下場幅0.30～0.50m、深さ0.32m、断面形はU字状の部分とテラス状の部分



第223図 溝跡区劃図





SD113-114-116-129 目-B'

- 1 灰褐色土 腐土ブロック(0.5~2.0cm) 微量
堆山ブロック(0.5~0.5cm)微量
- 2 暗灰褐色土 堆山ブロック(1.0~2.0cm)・腐土粒やや多
- 3 暗灰褐色土 黄褐色粒土(0.2~0.7cm)・褐色粘土粒(0.5cm)多
- 4 褐色土 褐色粘土粒(0.1~0.2cm)少 SD113
- 5 褐色土 黄褐色土ブロック(0.1~0.2cm)やや多
- 6 褐色土 黄褐色土ブロック(0.2~0.8cm)少
- 7 褐色土 黄褐色土ブロック(0.5~2.0cm)多
- 8 暗褐色土 褐色土ブロック(0.1~0.2cm)やや多
- 9 暗褐色土 褐色土ブロック(0.1~0.8cm)やや多
- 10 暗褐色土 酸化鉄多 褐色粘土粒(0.2cm)少

SD117 E-E' ~H-H'

- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック・炭化物微量 しまり弱
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック少
- 3 灰褐色土 褐色土ブロック(0.2~0.5cm)微量 酸化鉄多
しまりやや弱 土層片含む
- 4 褐色土 黄褐色土ブロック微量 酸化鉄多 しまりやや弱
- 5 灰褐色土 黄褐色土ブロックやや多
- 6 暗褐色土 黄褐色土ブロックやや多
- 7 灰褐色土 褐色土ブロック少 しまり弱 粘性やや強
灰褐色土ブロック多

SD119 J-J'

- 1 暗褐色土 褐色土ブロック(0.2~0.3cm)少
- 2 褐色土 暗褐色土ブロック(0.5cm)少

SD118-120-121 E-E' ~H-H'

- 1 褐色土 褐色土ブロックやや多 しまり弱
- 2 褐色土 褐色土ブロック少 黄褐色土ブロック・灰褐色土ブロック多 しまり弱
- 3 明灰褐色土 酸化鉄(0.1~0.2cm)多 7層の波れ込み しまりやや弱 粘性弱
- 4 褐色土 褐色土ブロック・黄褐色土ブロックやや多 炭化物少 しまり弱
- 5 灰褐色土 黄褐色土ブロック少 酸化鉄やや多 しまり弱 粘性やや強
- 6 暗褐色土 黄褐色土ブロック(0.3~0.4cm)微量 酸化鉄多
しまりやや強 粘性弱
- 7 灰褐色土 黄褐色土ブロック(0.1~0.2cm)微量 酸化鉄多
- 8 暗褐色土 灰褐色土ブロック(0.1~0.2cm)少
- 9 暗褐色土 黄褐色土ブロック多 酸化鉄多 しまり・粘性弱
- 10 暗褐色土 褐色土ブロック(0.5~0.8cm)少
褐色土ブロック(1.0cm)やや多 灰褐色土ブロック(0.5~3.0cm)
やや多 粘性弱
- 11 暗褐色土 褐色土ブロック(0.5~1.0cm)少 灰褐色土ブロック(1.0~4.0cm)多
炭化物(0.2~0.5cm)少 埋戻し土少

SD121 L-L'

- 1 明褐色土 酸化鉄(0.1~0.2cm)微量 暗褐色土ブロック(1.0~2.0cm)少
しまり・粘性弱
- 2 褐色土 酸化鉄(0.1~0.2cm)多 黄褐色土ブロック(0.1~0.2cm)少
しまり・粘性弱
- 3 灰褐色土 酸化鉄(0.1~0.2cm)多 黄褐色土ブロック(0.1~0.2cm)
しまりやや強 粘性弱
- 4 灰褐色土 黄褐色土粒(0.1~0.2cm)・灰褐色土ブロック(0.1~0.2cm)多
酸化鉄 しまりやや弱 粘性弱
- 5 暗褐色土 暗褐色土粒 しまりやや弱 粘性弱
- 6 暗褐色土 黄褐色土粒・灰褐色土ブロック多 酸化鉄 しまり強 粘性弱
- 7 黄褐色土 黄褐色土粒多 波れ込み土

第225図 溝跡断面図(1)

からなる。方位はN-39°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。

第4号溝跡 (第230・231区)

G・H-11グリッドに位置する。第1号方形周溝墓を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。第5号溝跡と平行している。両端とも調査区外に続く。平面形は直線状である。規模は、第1号方形周溝墓との重複部分を含めて全長8.20m、上場幅0.30～0.33m、下場幅0.10～0.29m、深さ0.10m、断面形は概ね逆台形である。方位はN-43°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。

第5号溝跡 (第230・231区)

G・H-11グリッドに位置する。第1号方形周溝墓を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。第4号溝跡と平行している。両端とも調査区外に続く。平面形は直線状である。全長は、第1号方形周溝墓との重複部分を含めて11.70m、上場幅0.28～0.32m、下場幅0.08～0.24m、深さ0.10～0.15m、断面形は概ね逆台形である。方位はN-42°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。

第6号溝跡 (第230・231区)

I-11グリッドに位置する。ピットとの新旧関係は確認できなかった。両端とも途切れている。平面形は直線状である。規模は、全長2.98m、上場幅0.50m、下場幅0.22～0.24m、深さ0.16m、断面形は碗状である。方位はN-35°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。他遺構との新旧関係から、9世紀第4四半期と推定される。

第7号溝跡 (第226～231区)

I-11・12、J-10・11、K-9・10、L-8・9、M-7・8、N-7グリッドに位置する。第2号方形周溝墓、第13・15・250号土壌、第5・6号住居跡を切り、ピットに切られているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は直線状で、C区を縦断する形で両端とも

調査区外に続く。全長71.70m、上場幅0.85～1.45m、下場幅0.45～0.75m、深さ0.50～0.56m、断面形は概ね逆台形で、方位はN-42°-Eを指す。

出土遺物は、土師器(61・62:6世紀第2四半期)が2点である。なお、凶化には至らなかったが、瀬戸・美濃系の陶器擂鉢と、志野皿(17C前葉)の小破片が出土した。

第8号溝跡 (第228～231・245区)

J-11・12、K-10・11、L-10グリッドに位置する。第2号方形周溝墓、第4号住居跡、第15号土壌、第94号井戸跡を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。両端とも調査区外に続く。平面形は直線状である。規模は、第2号方形周溝墓との重複部分を含めて、全長21.60m、上場幅0.85～1.13m、下場幅0.25～0.45m、深さ0.36～0.45m、断面形は概ね逆台形である。方位はN-43°-Eを指す。

出土遺物は、土師器(63:6世紀第2四半期)が1点である。

第9号溝跡 (第230・231区)

J-12グリッドに位置する。南端は調査区外に続く。平面形は直線状である。規模は、全長2.50m、上場幅0.65m、下場幅0.50m、深さ0.18m、断面形は概ね逆台形である。方位はN-62°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。

第10号溝跡 (第230・231・245区)

H-10、I-10・11、J-10・11、K-11・12グリッドに位置する。第8号土壌を切り、第13号溝に切られているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも調査区外に続く。規模は、全長34.30m、上場幅1.05～1.35m、下場幅0.15～0.28m、深さ0.69～0.82m、断面形は概ね逆台形である。方位はN-40°-Wを指す。

土師器3点(64～66)が出土した。

第11号溝跡 (第228・229・245区)

I-9グリッドに位置する。第39号土壇との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長3.74m、上場幅0.20～0.25m、下場幅0.08～0.10m、深さ0.08m、断面形は概ね碗状である。方位はN-44°-Eを指す。第101号溝跡と同一遺構の可能性もある。

砥石1点(67)が出土した。

第12号溝跡(第228～230図)

I-9・10、J-9グリッドに位置する。平面形は歪んだ直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長13.32m、上場幅0.35～1.48m、下場幅0.18～1.35m、深さ0.08～0.13m、断面形は概ね皿状である。方位はN-47°-Eを指す。

遺物は出土しなかった。

第13号溝跡(第228～231・246図)

J-10～12、K-9・10グリッドに位置する。第7号溝跡に切れ、第2号方形周溝墓と第10号溝跡を切るが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は歪んだ直線状で、西は途切れているが、東は調査区外に続くと思われる。規模は、全長24.68m、上場幅0.88～1.00m、下場幅0.28～0.85m、深さ0.42m、断面形は概ね逆台形で、方位はN-65°-Eを指す。

凶化できた遺物は3点(68～70)であった。なお、凶化には及ばなかったが、瀬戸・美濃系の陶器瓶(18C代)の小破片が出土した。

第14号溝跡(第230・231・246図)

J・K-11グリッドに位置する。第15号溝跡を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長9.80m、上場幅0.35～0.55m、下場幅0.20～0.30m、深さ0.23～0.30m、断面形は逆台形または碗状である。方位はN-42°-Wを指す。

磁器の蓋(71)と、釘(72)と思われる鉄製品が出土した。

第15号溝跡(第228～231図)

J-11、K-10・11、L-10グリッドに位置する。第14号溝跡に切れ、第4号住居跡と第3号周溝状遺構を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも途切れている。規模は、途切れている部分も含めて全長27.80m、上場幅0.20～0.32m、下場幅0.10～0.20m、深さ0.07m、断面形は碗状である。方位はN-40°-Eを指す。

遺物は出土しなかった。

第16号溝跡(第235・236・246図)

C・D・E-19グリッドに位置する。第3号周溝状遺構を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長15.01m、上場幅0.95～1.31m、下場幅0.38～0.79m、深さ0.25m、断面形は皿状である。方位はN-31°-Eを指す。

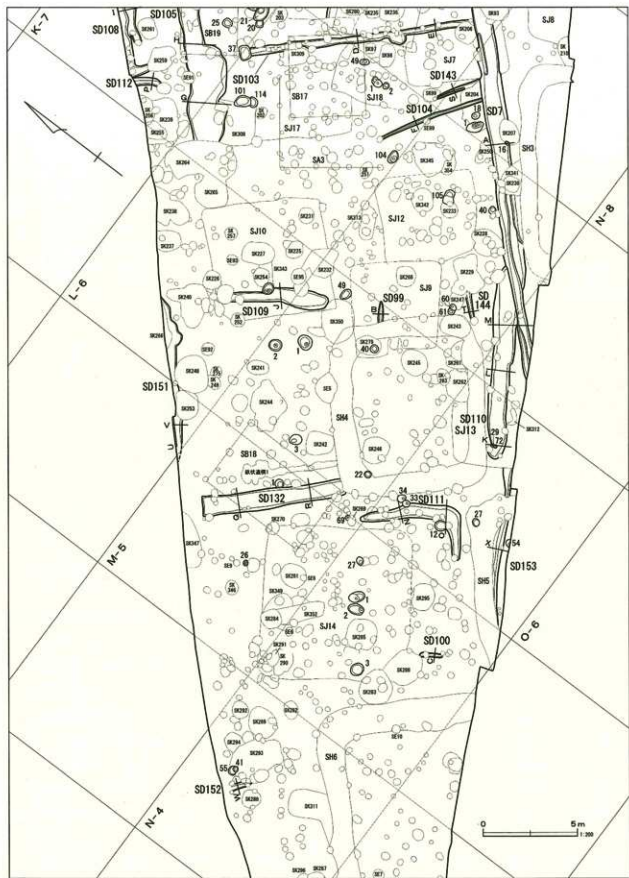
出土遺物のうち凶化できた遺物は、土師器・陶磁器のほか13点(73～85)である。なお、この他に瀬戸・美濃系の陶器(18C代)の小破片が出土している。

第17号溝跡(第235・236・239・240・246・247図)

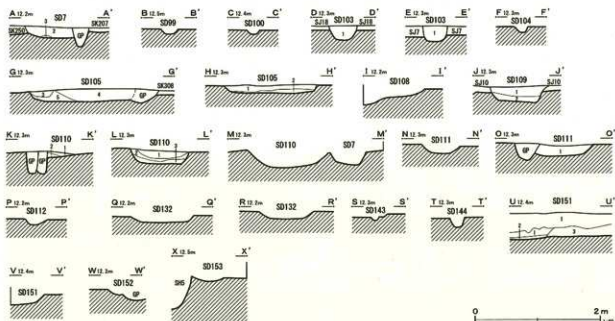
A・B-20、C・D-19・20、E-18・19、F-19グリッドに位置する。第2・3号周溝状遺構、第55号掘立柱建物跡P4を切っているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、北は途切れて、南は攪乱を受ける。規模は、全長43.65m、上場幅0.68～1.52m、下場幅0.19～1.10m、深さ0.16～0.66m、断面形は逆台形である。方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物のうち凶化できたのは、陶磁器・石製品のほか21点(86～106)である。なお、この他に瀬戸・美濃系の陶器拙鉢(18C前半か)・皿・碗(17C後半～18C前半)等の小破片が出土した。

第18号溝跡(第228・230図)



第226区 溝跡区劃圖(2)



- SD7 A-A'**
 2 褐色土 黄褐色土粘着層 粘性强
 3 黄褐色土 黄褐色土ブロック主体層 しまり強
- SD103 D-D'** E-E'
 1 暗褐色土 地山ブロック(1.0~3.0cm)多 地山粒やや多 しまりやや強 粘性强
- SD105 G-G'** H-H'
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)やや多 地山粒少
 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5~2.0cm)やや多 地山粒少 しまり強 粘性强
 3 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)、粘土ブロック(0.5cm)少 地山粒やや多
 4 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)少 粘土ブロック(0.5cm)、地山粒やや多
 5 暗褐色土 地山ブロック(0.5~3.0cm)、地山粒やや多 粘土ブロック(0.5cm)少
- SD109 J-J'**
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)、粘土ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性强
 2 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)やや多 しまり強 粘性强

- SD110 K-K' L-L'**
 1 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)若干 しまり強 粘性强
 2 暗褐色土 地山ブロック(0.5cm)、地山粒やや多 しまり強 粘性强
 3 暗褐色土 地山ブロック(0.5~1.0cm)、地山粒極多 しまり強 粘性强
- SD111 O-O'**
 1 暗褐色土 地山粒、地山ブロック(0.5cm)少 しまり強 粘性强
- SD151 U-U'**
 1 耕作土
 2 暗褐色土 耕作土のブロック(2.0~3.0cm)やや多
 3 暗褐色土 地山ブロック(1.0~2.0cm)、炭化物少 遺物包含層
 4 暗褐色土 地山ブロック(2.0~3.0cm)やや多

第227図 溝跡断面図(2)

J-11グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形はほぼ直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長2.56m、上場幅0.28~0.31m、下場幅0.15~0.25m、深さ0.05m、断面形は碗状である。方位はN-51°-Wを指す。

遺物は出土しなかった。

第19号溝跡(第228・229図)

J-11、K-10・11グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は「L」字状で、両端とも途切れている。規模は、全長11.28m、上場幅0.13~0.23m、下場幅0.07~0.11m、深さ0.05m、断面形は碗状である。方位はN-50°-WとN-40°-Eを指す。

遺物は出土しなかった。

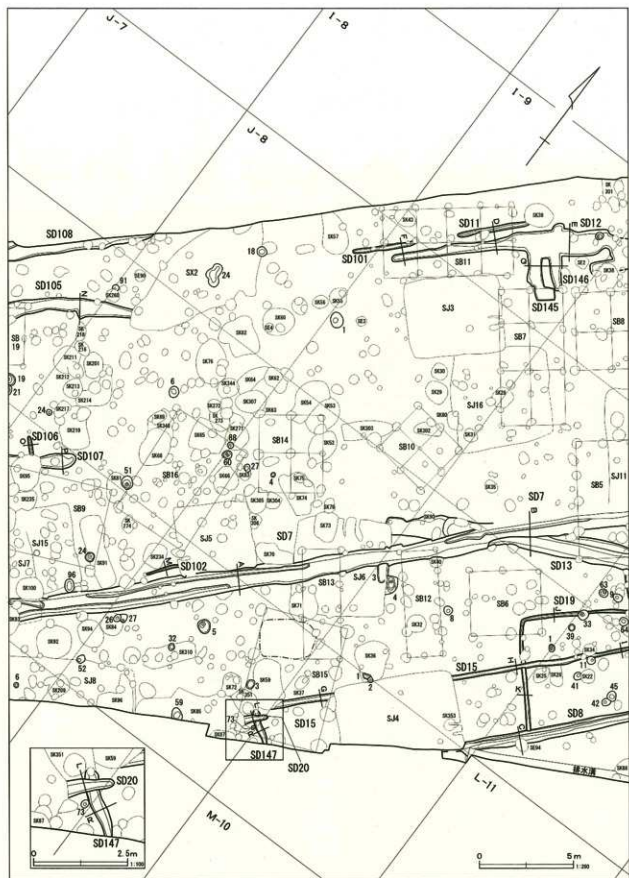
第20号溝跡(第228・229図)

L-9・10グリッドに位置する。重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は直線状で、両端とも途切れている。規模は、全長1.26m、上場幅0.20~0.45m、下場幅0.09~0.20m、深さ0.20m、断面形は皿状である。方位はN-46°-Eを指す。

遺物は出土しなかった。

第21号溝跡(第235・236図)

D・E・F-20グリッドに位置する。第73号溝跡を切り、第70・71号溝跡に切られているが、その他の重複遺構との新旧関係は確認できなかった。平面形は「L」字状で、東は第62号溝跡につながり、西は調査区外に続く。規模は、全長21.25m、上場幅0.69~0.91m、下場幅0.50~0.80m、



第228图 涝碱区剖图(3)